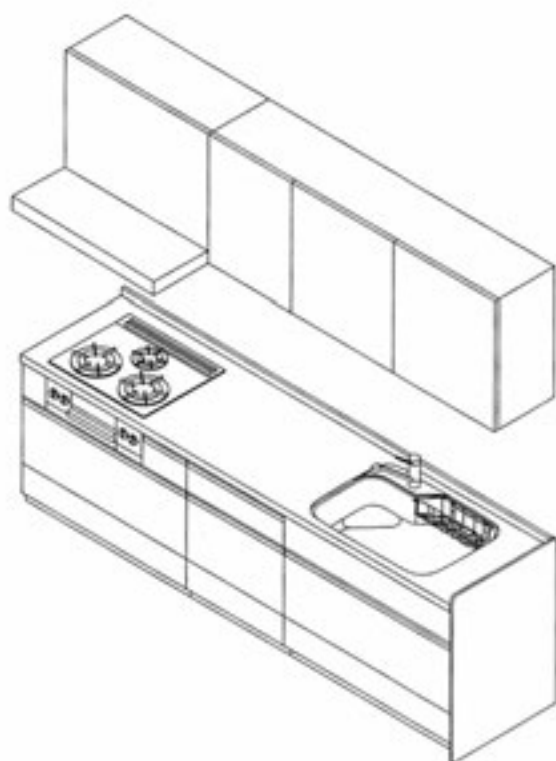


# システムキッチン 取扱説明書

## クリナップオリジナル システムキッチン



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

もくじ	3
ご利用の前に	4
安全上の注意	8
キッチン全体の使い方	20
調理アイテムの使い方	22
収納アイテムの使い方	
- キャビネット	34
- 吊戸棚	51
- キッチン周辺収納	55
対面型キッチン・その他部材	60
アクセサリパーツのご案内	62
こんなときは	65
保証書	67



中央のコードは、下記の番号を意味しています。  
商品に関する情報にはアクセスできません。

W103218000

2305A-68-01  
2308A-600-01

# クリナップオリジナルシステムキッチン の特徴

クリナップオリジナルシステムキッチンは、使いやすさと収納力を兼ね備えたシステムキッチンです。料理する、片付ける、お掃除する…それぞれの場面でお客様のキッチンライフが笑顔で包まれる様々な特徴があります。  
※お客様がご利用の商品と、一部特徴が異なる場合があります。

## 清潔で丈夫なステンレスキャビネット

ステンレスはさびにくく、カビが付きにくい衛生的な素材です。また、熱や衝撃にも強いので、水や火を使うキッチンのキャビネットには最適です。

**参照** 3.1. キッチン全体の使い方 P.20 ~ 21

## 使用頻度に合わせて立体的に収納できる 「ツールポケット＋スライドボックス」

よく使うものを取り出しやすく手前に立てて収納できる「ツールポケット」と取り出しやすい位置にものを重ねず収納できる「スライドボックス」で、キッチン作業を効率的に行うことができます。

**参照** 5.1. キャビネットの収納例 P.34 ~ 35

## 足元のスペースを有効に使える「フロアコンテナ」

クリナップが開発した、自慢の足元収納スペースです。置き場所に困りがちなストック品や、季節使いの調理器具をまとめてしまっておけます。

## 汚れに強いコーティング「美コート」

美コートワークトップと SA/SY/RW シンクには、しつこい汚れも落としやすいセラミック系特殊コーティングの「美コート」を施しています。日々のお手入れのサポートとして、簡単にキレイを保つことができます。

**参照** 4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.22 ~ 29

## 本書について

- キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がご利用の商品と異なる場合があります。
- 本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- 「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。
- 本書に記載の「コーリアン®」は米国デュポン社または関連会社の登録商標です。
- 本書に記載の「フィオレストーン®」はアイカ工業の登録商標です。

## 1. ご利用の前に

- 1.1. 各アイテムのなまえ . . . . . 4
- 1.2. お手入れスケジュール . . . . . 6
- 1.3. 定期的な点検 . . . . . 7

## 2. 安全上の注意

- 2.1. 安全上の注意 . . . . . 8
- 2.2. 重量に関する規定 . . . . . 19

## 3. キッチン全体の使い方

- 3.1. キッチン全体の使い方 . . . . . 20

## 4. 調理アイテムの使い方

- 4.1. ワークトップ (カウンター類を含む)・シンク . . . 22
- 4.2. 排水口周り . . . . . 30

## 5. 収納アイテムの使い方 - キャビネット

- 5.1. キャビネットの収納例 . . . . . 34
- 5.2. 包丁差し . . . . . 36
- 5.3. スライドボックス . . . . . 41
- 5.4. シンクキャビネット (コンセント付) . . . . . 42
- 5.5. 網カゴスライドキャビネット . . . . . 44
- 5.6. 開き扉・引出し・棚板・点検口 . . . . . 45

## 6. 収納アイテムの使い方 - 吊戸棚

- 6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた . . . . . 51
- 6.2. ハンドムーブ . . . . . 52

## 7. 収納アイテムの使い方 - キッチン周辺収納

- 7.1. スライドパントリー . . . . . 55
- 7.2. ステップコンテナ . . . . . 56
- 7.3. リサイクルゴミワゴン . . . . . 58
- 7.4. 家電収納庫 . . . . . 59

## 8. 対面型キッチン・その他部材

- 8.1. フロントスクリーン . . . . . 60
- 8.2. プッシュラッチ・扉開放防止部品 . . . . . 60
- 8.3. 照明器具 . . . . . 61

## 9. アクセサリーパーツのご案内

- 9.1. シンク用アクセサリーパーツ . . . . . 62
- 9.2. キャビネット用オプションパーツ . . . . . 64

## 10. こんなときは

- 10.1. Q & A . . . . . 65

## 保証書 . . . . . 67

# 1. ご利用の前に

## 1.1. 各アイテムのなまえ

各アイテムの名称と参照先は、下図のとおりです。

### 収納アイテム

#### 吊戸棚



ハンドムーブ

#### 参照

- ・安全上の注意：吊戸棚 P.15
- ・重量に関する規定：ハンドムーブ P.19
- ・使い方：収納アイテムの使い方ー吊戸棚 P.51～54

#### キャビネット

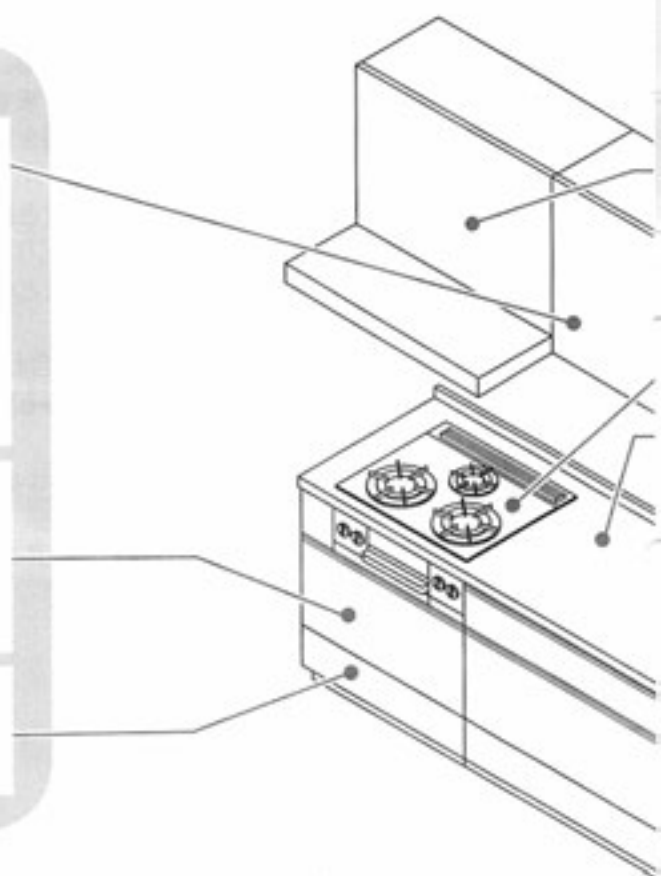
#### 参照

- ・安全上の注意：キャビネット P.12～14
- ・重量に関する規定：キャビネット P.19
- ・使い方：キャビネット P.34～50
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.34～35

#### フロアコンテナ

#### 参照

- ・安全上の注意：フロアコンテナ P.14
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.34～35



## キッチン周辺収納



スライドパントリー

#### 参照

- ・安全上の注意：スライドパントリー P.15
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.19
- ・使い方：スライドパントリー P.55



リサイクルゴミワゴン

#### 参照

- ・安全上の注意：リサイクルゴミワゴン P.16
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.19
- ・使い方：リサイクルゴミワゴン P.58

## 調理アイテム

## レンジフード

**参照** ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

## 調理機器

**参照** ・安全上の注意：調理機器・組込機器類 P.11  
・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

## ワークトップ

**参照** ・使い方：ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.22～29

## 水栓

**参照** ・安全上の注意：水栓 P.12  
・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

## シンク

**参照** ・安全上の注意：シンク P.11  
・使い方：ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.22～29

## 排水口

**参照** ・使い方：排水口周り P.30～33

取扱い方法・お手入れに関する動画  
は、こちらの2次元コードから  
ご覧ください。



※取扱い方法、お手入れの動画がない商品・部位もございます。  
※ご利用いただく際に発生する通信料などは、お客様のご負担となりますので、予めご了承ください。



ステップコンテナ

**参照**

- ・安全上の注意：ステップコンテナ P.15～16
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.19
- ・使い方：ステップコンテナ P.56～57



家電収納庫

**参照**

- ・安全上の注意：キッチン全体 P.8
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.59
- ・使い方：家電収納庫 P.59

# 1. ご利用の前に

## 1.2. お手入れスケジュール

### ● お手入れスケジュールのすすめ

- ・毎日使うキッチンには、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- ・調理機器、レンジフード、水栓、浄水器などの関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

#### 年間お手入れスケジュール例

期 間	お手入れ内容
毎日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークトップ（カウンター類を含む）：水滴などの軽い汚れを拭き取る。</li> <li>・シンク：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。</li> <li>・排水口：浅型カゴにたまったゴミを捨てる。</li> <li>・引出し前板・開き扉：水滴や油汚れを拭き取る。</li> <li>・調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。</li> <li>・調理機器のグリル：使用後、油汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。</li> <li>・レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。</li> </ul>
週一度 または 汚れてきたら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークトップ（カウンター類を含む/フィオレストーン®以外）・シンク：メラミンフォームやスポンジに中性洗剤をつけて洗う。</li> <li>・ワークトップ（カウンター類を含む/フィオレストーン®）：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。</li> <li>・排水パイプ：防臭器または防臭パイプを取り出して、中までしっかり洗う。 洗剤に1～2杯（5～10ℓ）のぬるま湯をため、台所用中性洗剤を混ぜて薄めた後、勢いよく流す。</li> <li>・水栓金具：水滴などの軽い汚れを拭き取る。</li> <li>・ガスコンロのゴトク：こびりつき汚れを洗う。</li> <li>・引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭き。</li> <li>・壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。</li> </ul>
月一度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水パイプ：排水プレート～防臭器または防臭パイプを取り外して排水パイプ用洗剤を、排水パイプに注ぎ、洗浄する。洗浄後は、十分に水を流す。</li> <li>・レンジフード：フィルターなどを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。</li> </ul>
半年～年一度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は専用取扱説明書をご覧ください。</li> <li>・浄水器：カートリッジ交換を忘れずに行う。 交換時期については専用取扱説明書をご覧ください。</li> </ul>

**MEMO** 洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてご利用ください。

#### 気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- ・ワークトップ（カウンター類を含む）やシンクに水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

**参照** ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.22～29、Q&A P.65

- ・ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- ・水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー（ろ過用の金具）をチェックしてください。

**参照** ガスコンロ、水栓金具について詳しい内容は別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

- ・汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取りにくくなります。
- ・床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。



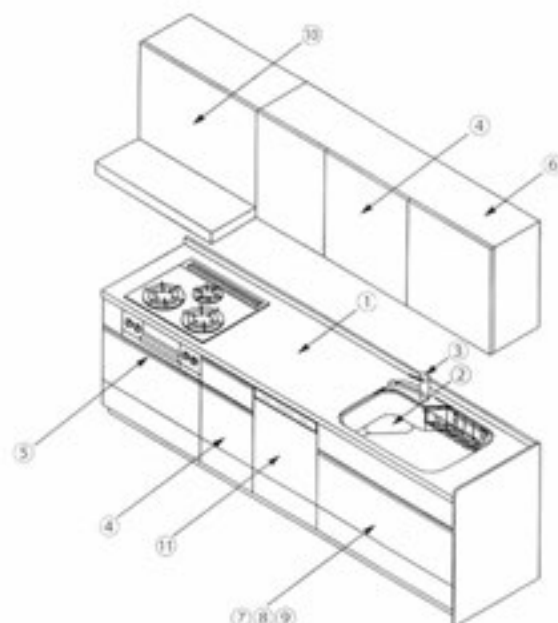
# 1. ご利用の前に

## 1.3. 定期的な点検

### 定期的な点検のすすめ

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。

水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにお買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにお買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップ株式会社に修理を依頼してください。そのまま放置していると、思わぬ事故の恐れがあります。



点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①ワークトップ・シンク	水漏れ点検	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。	穴開きやひび割れ	水漏れによる家財等の破損、破損部接触によるケガ
②排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財等の破損
③水栓金具	水漏れ点検	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。	本体やレバーのガタつき	水漏れによる家財等の破損
	安全点検	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具本体やシャワーヘッド、レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れによる家財等の破損
④扉	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	扉の表裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑤取っ手	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
⑥吊戸棚	安全点検	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	本体の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	棚板の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑦キャビネット	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによる家財等の破損
⑧引出し	安全点検	引出しに変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑨包丁差し	安全点検	包丁差しにガタつきがないか確認してください。	ガタつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
⑩レンジフード	安全点検	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。	幕板、整流板、フィルターのガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑪食器洗い乾燥機	水漏れ点検	食器洗い乾燥機周りに水漏れがないか確認してください。	水漏れ	水漏れによる家財等の破損

点検の結果、不備があった場合は、お買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップ株式会社へご連絡ください。

## 2.1. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**警告**

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。

**注意**

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



禁止

この行為は禁止されています。



注意

この行為は、注意が必要です。



必ず実行

この行為を必ず実行してください。



手をはさまれないよう注意

引出しや扉などで手をはさむことで、傷害が起こる可能性があります。



接触禁止

特定の条件で特定の場所に触れると、傷害が起こる可能性があります。



発火注意

特定の条件で発火の恐れがあります。



ぬれ手禁止

製品をぬれた手で扱うと感電する恐れがあります。

**警告**

## キッチン全体



発火注意

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発熱により、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

調理機器を使っているときは、その場を離れない。

高温になりすぎて、火災の原因になります。



発火注意

キャビネット内や家電収納庫などのスライド台に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱調理機器を置いて使用しない。

キャビネットが加熱され、火災の原因になります。







必ず実行

キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。



必ず実行

吊戸棚本体がグラついたり、壁との間にすき間が空いているときは使用を中止する。

吊戸棚が落ちたり、収納物が落下してけがをする恐れがあります。お買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

**参照** アフターサービスのご用命 裏表紙



必ず実行

扉が傾いていたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

扉が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。また、ねじがゆるんでいないことを定期的に確認してください。

**参照** 5.6. 開き扉・引出し・棚板・点検口 P.45 ~ 50

## シンクキャビネット（コンセント付）



発火注意

製品を分解・改造・修理をしない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



禁止

アース接続が必要な電気機器は使用しない。

漏電により、感電の原因になります。



発火注意

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発熱により、火災の原因になります。



発火注意

たこ足配線をしない。

発熱により、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

電源コードを引っ張るなど、コンセントユニットに無理な力をかけて使用しない。

破損による、感電・火災の原因になります。



発火注意

コンセントユニットに水・洗剤・スプレーをかけない。

破損による、感電・火災の原因になります。



必ず実行

コンセントユニット、電源プラグについた水や汚れは、必ず乾いた布できれいに拭き取ってから使用する。

破損による、感電・火災の原因になります。



発火注意

表面被覆が傷付いた電源コードを使用しない。

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。

## 2. 安全上の注意

### 2.1. 安全上の注意

#### 警告



発火注意

電源コードを無理に曲げたまま使用しない。

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



発火注意

電源コードが垂れたまま、引出しなどを開けない。

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



禁止

規定のプラグコード以外を使用しない。

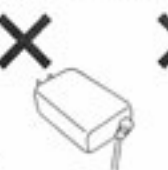
破損や定格消費電力を超えることによる、感電・火災の原因になります。



携帯充電用プラグ



別が可動するプラグ



ACアダプター



テーブルタップ



3芯コンセント



アース付プラグ



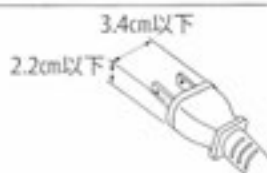
延長コード



禁止

差込口の根元まで差すことのできない電源プラグを使用しない。

液体がすき間からコンセント内に侵入することによる、感電・火災の恐れがあります。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

液体がすき間からコンセント内に浸入することによる、感電・火災の恐れがあります。



禁止

先端の曲がった電源プラグは使用しない。

破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持ってまっすぐに引き抜く。

破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。



禁止

コンセント差込口カバーが割れ・外れ・開けすぎた状態で、使用しない。

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。

コンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにお買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。



禁止

コンセントユニットにガタつきや破損がある状態で、使用しない。

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。コンセントユニットにガタつきや破損がある場合やコンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにお買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

# **注意**

## キッチン全体



禁止

取っ手、扉、棚、引出し、化粧板、ラック、ワゴンなどにぶら下がったり、体重をかけたりしない。

キッチンが破損し、ケガをする恐れがあります。

〈吊戸棚〉



〈引出し、扉(取っ手)〉



必ず実行

引出しの取り外し、取り付け、調整またはキャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。



禁止

スライド台には熱い鍋や重いもの、包丁などを載せない。

鍋や包丁などが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



必ず実行

床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。

足を滑らせて転び、ケガをする恐れがあります。特に、対面キッチンのコンロ側が通路になっているキッチンやダイニング側に注意してください。



禁止

ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。

故障や破損の原因になります。



禁止

プッシュオープンの扉に寄りかかったり、蹴ったりしない。

意図せず扉が開き、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

カウンターの角部に頭や体をぶつけないように注意する。

特に小さなお子様の場合、ケガをする恐れがあります。



## 調理機器・組込機器類



接触禁止

調理中や調理直後は、調理機器周辺に手を触れない。

やけどの恐れがあります。



## シンク



禁止

シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。まな板をサポートプレートの上に置いてものを切らない。

まな板やサポートプレートがシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。



禁止

てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。また、排水管のつまりの原因になります。

## 2.1. 安全上の注意

## ⚠ 注意

## 水栓



必ず実行

**混合水栓を使用する場合は、必ず水を先に出す。**

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様には注意してください。

## キャビネット

## ●シンクキャビネット、ペースキャビネット、コンロキャビネット



必ず実行

**シンク下の引出しに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さ、奥行きに注意する。**

接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。



禁止

**トラップガードの位置を移動させたり、取り外したりしない。トラップガードの上に収納物を載せない。**

収納物と排水器具が接触し、漏水の恐れがあります。



必ず実行

**ツールポケット用包丁差しの固定パーツがロック方向に回転しているか確認する。**

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



禁止

**包丁差しを固定しているねじは外さない。**

包丁の落下につながり、思わぬケガをする恐れがあります。



必ず実行

**包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。**

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



必ず実行

**ロック付斜め包丁差しを取り付けるときはピン、底板の突起が正しい位置にはまっていることを確認する。**

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。参照 S.2. 包丁差し P.36 ~ 40



必ず実行

**包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。**

扉を引き出したときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。特に、右図のような斜めに包丁を入れるタイプの場合は、段差に柄の部分が掛かるように収納してください。



禁止

**包丁を無理に引っ張らない。**

勢いよく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。包丁が抜けるときは一度正しい収納位置に戻し、ロックが外れていることを確認してからまっすぐに引き抜いてください。



必ず実行

**ロック付斜め包丁差しは必ず底板を取り付けて使用する。**

底板の上に刃を載せて使用してください。包丁の刃が露出し、ケガをする恐れがあります。



禁止

**包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。**

包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。



## キャビネット



注意

スライドボックスに収納する場合は、排水器具に当たらないように、収納物の高さ、奥行きに注意する。

収納物が排水器具に当たると、排水器具が破損し、水漏れする恐れがあります。



禁止

ガス配管ガードは絶対に外さない。

ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



禁止

ガス配管ガードの中にもものを入れない。

ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



必ず実行

コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓（中間コック）と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。



### ●シンクキャビネット（コンセント付）



禁止

電源コードがぬれたり、加熱機器に電源コードが掛かったまま、使用しない。

断線・ショートによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



禁止

調理家電を使用時に、電源コードなどで遊ばないように注意する。

電源コードを引っ張り、調理家電や物が落下し、ケガ・やけどをする恐れがあります。



必ず実行

調理家電を使用していないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、差込口カバーを閉めて、コンセントユニットのフタも閉める。

液体がこぼれコンセントユニット内部に侵入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



## 2.1. 安全上の注意

**⚠ 注意**

## ●フロアコンテナ



禁止

**フロアコンテナを引き出したまま作業しない。また、足場代わりにしない。**

足をぶつけたり、転倒によるケガや、フロアコンテナが破損する恐れがあります。



注意

**フロアコンテナを引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業者やお子様など、周囲の人にも注意する。**

足の指をはさむ恐れがあります。



禁止

**引出しを開けたまま、フロアコンテナを引き出さない。**

指をはさんだり、引出しやフロアコンテナが破損する恐れがあります。

## ●開き扉、引出し、棚板



禁止

**開き扉開閉時は、丁番には触れない。**

丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

**引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手を掛けない。**

ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。



禁止

**扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。**

ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



禁止

**扉を大きく開けすぎない。**

丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

**棚受けダボは確実に奥まで差し込む。**

棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。



## 吊戸棚

### ●ハンドムーブ



禁止

操作部以外に手を掛けたり、機構部や本体のすき間に手を入れない。  
手をはさむ恐れがあります。



禁止

収納物が、はみ出したまま昇降させない。  
収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットが破損する恐れがあります。



禁止

割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しない。  
収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。



禁止

勢いよく昇降しない。  
収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

バネ切り替えレバーは、重量に対して適切にセットする。  
収納ラックが勢いよく戻ったり、急降下したりして、収納物の落下や、収納ラックの変形・落下により、ケガをする恐れがあります。

参照 6.2. ハンドムーブ P.52～54



禁止

操作レバーにもものを引っ掛けない。  
収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

棚は降ろしきった状態で使用する。  
収納物が落下し、破片でケガをする恐れがあります。



禁止

調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しない。  
頭などをぶつける恐れがあります。

## キッチン周辺収納

### ●スライドパントリー



禁止

扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。また、機構部を手や足で触らない。  
扉と扉の間に手をはさんだり、機構部で手や足をはさんでケガをする恐れがあります。



禁止

炊飯器やガスコンロなどのガス機器、電気コンロや電熱器などの熱源の露出した器具、卓上IH調理器、オーブントースター、電子レンジ、電気圧力鍋、ホットプレート、魚焼き器、ポット、コーヒーメーカーを使用しない。  
蒸気によるキャビネットの膨れ、熱による結露、変色、変形、火災の恐れがあります。



禁止

扉を閉めたまま、調理家電を利用しない。  
火災の恐れがあります。

### ●ステップコンテナ



必ず実行

ロック音が鳴るまで完全に引き出し、押しても戻らないことを確認後、足元に注意して静かに乗り降りする。また、引き抜いて単独で使わない。  
つまずいたり、滑ったりして、ケガをする恐れがあります。



## 2.1. 安全上の注意

**⚠ 注意**

禁止

**ステップコンテナを引き出したまま作業しない。**

つまずいて転倒したり、足をぶつけたりしてケガをする恐れがあります。使用後は、必ずキャビネットに収納してください。



禁止

**スリッパや履き物を履いたまま乗らない。また、ストッキングなどの滑りやすい靴下を履いて乗るときには十分注意する。**

つまずいたり、滑ったりして、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

**ステップコンテナの乗り降りは足元に十分で注意のうえ、静かに行う。また、飛んだり、跳ねたりしない。**

商品が破損したり、転倒してケガをする恐れがあります。



禁止

**お子様や、お体の不自由な方は使用しない。また、お子様を遊ばせたりしない。**

転倒するとケガや思わぬ事故の原因になります。



必ず実行

**ステップコンテナのふちではなく、中央付近に乗って使用する。**

ステップコンテナがガタつき、転倒してケガをする恐れがあります。

## ●リサイクルゴミワゴン



禁止

**ワゴンを勢いよく動かさない。**

ワゴンが転倒してケガをする恐れがあります。特に、床下収納庫など床に段差のある部分を移動する場合は、手でしっかり支えながら移動してください。



禁止

**ワゴン周辺にキッチンマットや毛足の長いじゅうたんを敷いて使用しない。**

ワゴンに毛がからまり、転倒してケガをする恐れがあります。



手をはさまれないよう注意

**ワゴンをキャビネットから出し入れする場合は、必ず取っ手部分を持つ。**

扉部分などを持って出し入れすると、手や指をはさむ恐れがあります。



必ず実行

**ワゴンを、床下収納庫など床に段差のある部分で移動する場合は、特に、手でしっかり支えながら移動する。**

転倒する恐れがあります。



禁止

**ワゴンで遊んだり、寄りかかったりしない。**

ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。

## 対面型キッチン



禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手を引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどの恐れがあります。



必ず実行

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、ワークトップから床面に油などの飛び散りが想定される。床面に油などが飛び散ったら、すぐに拭き取る。

足を滑らせて、転んでケガをする恐れがあります。

## その他部材

### ●フロントスクリーン



禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に端部への衝撃にはご注意ください。また、ガラスにできた傷が大きくなり破損することがあります。



接触禁止

調理中や調理直後はフロントスクリーンに手を触れない。

調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。

フロントスクリーン



禁止

フロントスクリーンのガラスやフレームに寄りかかったりしない。

ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。



禁止

万一、ガラスが破損（ひび、欠けなど）したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。ガラス破損時は、直ちにお買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

**参照** アフターサービスのご用命 裏表紙

### ●コンセント



必ず実行

ときどき電源プラグを抜いて拭き取り、ほこりがたまらないようにする。

ほこりがたまると発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。

### ●照明器具



必ず実行

照明が取付器具に確実に取り付けられているか確認する。

照明が脱落して破損し、ケガをする恐れがあります。



禁止

点灯中や消灯直後（約 5 分間）は照明の表面が高温になっているので、素手で触らない。

お手入れをする場合は照明のスイッチを切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

## 2.1. 安全上の注意

**⚠ 注意****洗剤**

必ず実行

台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。



禁止

台所には、固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。



禁止

台所では成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

**収納アイテム**

禁止

収納アイテムに、収納物を無理につめ込まない。

棚板や引出しの変形・破損につながります。

# ⚠ 注意

## 収納アイテム

### ●キャビネット、棚板



必ず実行

キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

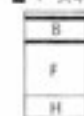
部位	耐荷重
A コンロ横引出し	2 kg
B 引出し	20 kg
C スライドボックス本体 (シンクキャビネット・コンロキャビネット)	8 kg
D スライドボックス付 コンロキャビネット引出し	30 kg
E 引出し	40 kg
F 引出し	開口 30cm/45cm 20 kg 開口 75cm~ 40 kg
G スライドボックス付 シンクキャビネット引出し	10 kg
H フロアコンテナ	20 kg
網カゴスライドキャビネット	10 kg
周辺収納キャビネット引出し	20 kg
棚板	1 枚 20 kg
底板	1 枚 20 kg

**MEMO** 20 kg = 直径 26 cm の大皿 25 枚以内が目安です。

#### ■コンロキャビネット



#### ■ベースキャビネット



#### ■シンクキャビネット



### ●ハンドムーブ



必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上の収納をすると、変形や落下の原因になります。

部位	耐荷重
ハンドムーブ	8 kg

(ハンドムーブ)



## キッチン周辺収納



必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。(ステップコンテナ)

限度以上の収納をすると、変形・落下・破損や、ケガの原因になります。

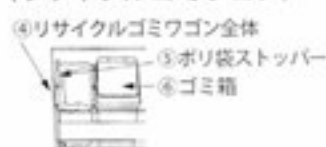
部位	耐荷重
ステップコンテナ	①ステップ部 100 kg ②収納部 20 kg
家電収納庫	③スライド台 15 kg
リサイクルゴミワゴン	④リサイクルゴミワゴン全体 20 kg ⑤ポリ袋ストッパー 5 kg ⑥ダストボックス 5 kg



(家電収納庫)



(リサイクルゴミワゴン)





## 3.1. キッチン全体の使い方

## ● 使用上の注意

## ● ステンレス部品（ステンレスワークトップ、ステンレス扉、引出し底板など）



ぬれた包丁・塩・しょうゆ、または鉄製のタワシや、ステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。

サビの原因になります。

## ● 樹脂部品（人工大理石ワークトップ・プラスチック製品など）



樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油成分などを付着したまま放置しない。

しみ・変色、ひびや破損の原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

## ● 開き扉・引出し・化粧板・棚板・取っ手・キャビネット



家具用ワックス、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。



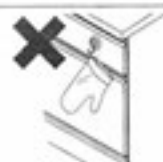
水をかけたまま放置しない。

表面のふくれの原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



開き扉・引出し前板やパネルなどにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。

変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



開き扉・引出し前板やパネルなどをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。



引出しを開けたまま、他の引出しを開けない。

引出しが自重で下がったり、左右のブレによって、扉どうしが干渉し、破損の恐れがあります。



必ず実行

キャビネット内に洗剤などを保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

サビの原因になります。



注意

室内の温度や調理機器の使用時間・方法などによってコンロキャビネットおよび隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料や食材に記載の保存方法に従ってください。



## ●フロントスクリーン（ハイタイプ）



**ダイニング側のガラス面にはガラスクリーナーを使わない。**

フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。変質・変色する恐れがあります。

## ●その他



**間口の大きい引出しは、取っ手の端部を持って開閉しない。**

扉がガタつき、引き出しにくい恐れがあります。



**ストーブ・暖房器具などを近づけない。**

キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



**ワークトップ、カウンター上に炊飯器などの蒸気を発生する機器を置いて使う場合、吊戸棚に直接蒸気がかからないように留意する。**

結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。



**調理機器のグリル扉を開けたまま使わない。**

機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



## ● お手入れのしかた

### キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・扉・引出し・棚板・取っ手

#### 通常のお手入れ

- ・綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

#### 汚れた場合のお手入れ

- ・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

#### 注意

- ・ステンレス扉の場合は、汚れや指紋をつきにくくするためにコーティングが施されています。お手入れ、汚れ落としは、傷をつけないよう注意してください。
- ・開き扉・引出し前板やパネル、樹脂部品などはメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗剤などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

#### シースルー扉のお手入れ

シースルー扉の半透明板は、プラスチックです。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

#### 注意

- ・シースルー扉には、ガラスクリーナーを使わないでください。表面が白く変色・変質したり、傷がつく恐れがあります。
- ・メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗剤などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなる原因になります。

## 4. 調理アイテムの使い方

### 4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

ワークトップやシンク、カウンター類にはさまざまな種類の素材があります。

それぞれの素材の特徴や使用上の注意、お手入れの仕方をお読みになり、素材に合った使い方をしてください。

素材名	対象部材	特徴	前縁形状
ステンレス	ワークトップ シンク	汚れに強く丈夫な素材です。美コートワークトップと SA/SY/RW シンクは美コート（セラミック系特殊コーティング）を施しています。（※1）美コートは油汚れが落としやすく、日々のお手入れが簡単でキレイを保つことができます。SA/SY/RW シンクの底面には特殊エンボス加工を施しています。エンボス加工により、食器や調理器具の接する面を小さくし、こすれキズがつきにくく、目立ちにくくします。	前縁 20 mm 前縁 40 mm 
BMC	ワークトップ シンク	インテリア性と耐久性を備えた強く美しい人工大理石です。高級感を醸し出し、石目調の表情がインテリアに映えます。	前縁 40 mm 
アクリストーン	ワークトップ シンク	熱に強く、美しい色合いを長く保てる人工大理石です。砂目調や石目調など、豊富な柄と色のバリエーションがあります。	前縁 20 mm 
コーリアン*	ワークトップ	熱に強く、美しい色合いを長く保てる人工大理石です。流れ模様や粒により、天然石のような風合いをもち、上質なインテリアを演出します。	前縁 20 mm 
フィオレストーン*	ワークトップ カウンター類	天然水晶を使用し、樹脂による強度を合わせ持つ人工大理石です。	前縁 20 mm 
メラミン	カウンター類	カウンターとして使用できる美しさと耐久性を兼ね備えた化粧板です。	前縁 20 mm 前縁 40 mm 

※1 以下の部分には美コートが施されていません。

〔ワークトップとシンクのつなぎ目〕〔L型ワークトップのつなぎ目〕

## 使用上の注意

### ●ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク共通



禁止

ワークトップをまな板代わりに使用しない。

傷がつく恐れがあります。



禁止

強い衝撃を与えない。ワークトップに乗らない。

破損の原因になります。



禁止

ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれが原因）などの恐れがあります。置く場合は鍋敷き（厚さ1cm以上）などを使用してください。



禁止

ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

反り・ゆがみ・ひび割れ・表面波打ちの原因になります。



禁止

ワークトップやシンクの上に水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。特に濃色のワークトップやシンクは水あかや汚れが目立ちますので、こまめにお手入れをしてください。

参照 お手入れ方法と洗剤・洗剤 P.24～25



禁止

食器や調理器具の置き方に注意し、引きずらない。

表面に傷がつく恐れがあります。鍋を置く場合は、鍋敷きをご利用下さい。特に濃色のワークトップの場合は、傷が目立つので注意してください。ヘアライン仕上げの場合は、加工の目方向と垂直方向に傷がつくと目立ちます。



禁止

**硬く鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。**

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。



禁止

**熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。また、熱い油鍋をシンクの中に直接置かない。**

変色・変形の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。



注意

**シンクに多量の氷や、冷水を入れない。**

シンクの裏面や、その周辺が結露して、収納物や引出しをぬらす恐れがあります。

- 人工大理石ワークトップ（アクリストン・BMC・コーリアン®・フィオレストーン®）、人工大理石シンク（アクリストン・BMC）、メラミンカウンター、フィオレストーン®カウンター



禁止

**還元水素水生成器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。**

接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。



必ず実行

**色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗剤が付着した場合は、すぐに洗う。**

長時間放置すると落としにくくなります。

- フィオレストーン®ワークトップ（カウンター類を含む）、フィオレストーン®カウンター



注意

**欠け・割れなどが発生する恐れがあるため、取り扱いに注意する。**

欠け・割れなどが発生しても、補修することはできません。

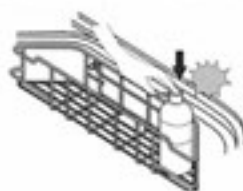
- クリンラック（SA/SYシンク用）



注意

**クリンラック（SA/SYシンク用）の端にポンプ式などの洗剤を置いて強く押さないよう留意する。**

クリンラックが傾いて収納物が倒れる恐れがあります。



## ● お手入れのしかた

## お手入れ方法と洗浄具・洗剤








必ず実行

下表を参照し、適切なお手入れを行う。

ワークトップやシンクの材質によって、お手入れの方法が異なります。以下の表を参照し、お使いのキッチンに合わせて、適切なお手入れを行ってください。

**MEMO** お客様がお使いのシンクとワークトップの種類を確認し、表中の「お使いの商品」の欄にチェックマークを入れておくと便利です。

			ワークトップ・シンクのお手入れ方法		
			通常のお手入れ		
洗浄具類 (参考事例)			ふきん・柔らかい布 	<div>スポンジ 「ウレタンスポンジ下面」 (ウレタン部) </div> <div>「ネット付スポンジ」 </div>	<div>メラミンフォーム </div> <div>「激落ちくん」 (レック株式会社)</div>
	洗剤類 (参考事例)	お使いの商品	<div>中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤</div> <div></div> <div>各種「ファーマーシリーズ」(花王株式会社) 各種「チャーミーシリーズ」(ライオン株式会社)</div>		
シンク	ステンレス (美コート付)	✓	毎日のお手入れ		週1度のお手入れ
	ステンレス (美コートなし)	✓	<div>● 使用推奨</div> <div>① 洗剤をつけたスポンジで洗う。 ② 水で洗剤を洗い流す。 ③ 乾いた布で乾拭きする。</div>		<div>● 使用推奨</div> <div>汚れてきたら ① 洗剤をつけたメラミンフォームで洗う。 ② 水で洗剤を洗い流す。 ③ 乾いた布で乾拭きする。</div>
	アクリストン BMC	✓			
ワークトップ カウンター類	ステンレス (美コートなし)	✓	毎日のお手入れ	週1度のお手入れ	汚れてきたら
	ステンレス (美コート付)	✓	<div>● 使用推奨</div> <div>① 水を含んだ布で拭き取る。 ② 乾いた布で乾拭きする。</div>	<div>● 使用推奨</div> <div>① 洗剤をつけたスポンジで汚れを落とす。 ② 水を含んだ布で洗剤を拭き取る。 ③ 乾いた布で乾拭きする。</div>	<div>● 使用推奨</div> <div>① 洗剤をつけたメラミンフォームで汚れを落とす。 ② 水を含んだ布で洗剤を拭き取る。 ③ 乾いた布で乾拭きする。</div>
	アクリストン BMC	✓			
	コーリアン® (濃色以外)	✓			〈コーリアン®(濃色)・メラミンの場合〉 <b>注意</b> 軽く拭き取ってください。メラミンフォームで強く拭き取るとつやが変わる恐れがあります。
	コーリアン® (濃色) メラミン	✓			
	フィオレストーン®	✓		(フィオレストーン®の場合) <b>注意</b> メラミンフォームや中性以外の洗剤を使用する場合は、ワークトップの目立たない部分で確認してからご使用ください。表面のつやが変わる恐れがあります。	



**注意**

- ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。
- ・ワークトップを部分的にお手入れすると、拭き取った部分が変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。ワークトップ全体をお手入れするようにしてください。
- ・クリームクレンザーやサンドペーパー、スポンジ（研磨粒子付）を使用する場合は、ワークトップの目立たない部分で傷が付かないか確認してください。


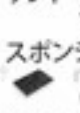




**参照**

1.2. お手入れスケジュール P.6  
アフターサービスのご用命 裏表紙

- ※1 アクリストンワークトップ・シンク、コーリアン®ワークトップ（濃色以外）で、汚れや傷をお手入れした箇所とその周辺に光沢の違いが見られる場合は、クリームクレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。
- ※2 アクリストンワークトップ・シンク、コーリアン®ワークトップで、下記お手入れを実施したうえで傷や欠けが気になる場合、お買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンターまたは、クリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。

ワークトップ・シンクのお手入れ方法

落ちにくい汚れや傷のお手入れ

メラミンフォーム	サンドペーパー240番 スポンジ（研磨粒子付） 「ウレタンスポンジ上面」 （研磨粒子付不織布部）	—	金属タワシ
 「激落ちくん」 （レック株式会社）			
クリームクレンザー（研磨材20%以下） 	—	粉末クレンザー 	—



**注意**

傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、  
使用不可 もらいサビの恐れがあります。



- ① 汚れがついた部分を円を描くように磨く。  
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可



**注意**

傷がつき、汚れが取りづらくなる  
使用不可 恐れがあります。



- ① 汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。  
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

使用可

**注意**

シンク底面以外（シンク側面等）には使用  
しないでください。  
つやがなくなり、傷がつく恐れがあります。



**注意**

傷がつき、汚れが取りづらくなる  
使用不可 恐れがあります。



- ① 汚れがついた部分を磨く。  
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可

**MEMO**

ヘアライン仕上げの場合は、目方向  
と平行になるように磨いてください。



**注意**

傷や表面のつやの変化、もらいサビの  
使用不可 恐れがあります。



**注意**

傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、  
使用不可 もらいサビの恐れがあります。



- ① 汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。  
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

使用可



**注意**

傷がつき、汚れが取りづらくなる  
使用不可 恐れがあります。



- ① 汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。  
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

使用可



**注意**

傷がつき、汚れが取りづらくなる  
使用不可 恐れがあります。



**注意**

表面のつやがなくなり、白くもる恐れがあります。  
使用不可



アルコールを使用して手早く拭き取る。

使用不可



**注意**

表面のつやがなくなり、白くもる  
使用不可 恐れがあります。

## 4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

## 注意が必要な洗剤類



必ず実行

洗剤類を使用する場合は、下表を確認のうえ、注意して使用する。  
また、使用不可な洗剤は使用しない。

ワークトップやシンクには、使用時に注意が必要な洗剤や使用できない洗剤があります。  
洗剤類を使用する場合は、以下の表でご確認のうえ、注意してご使用ください。

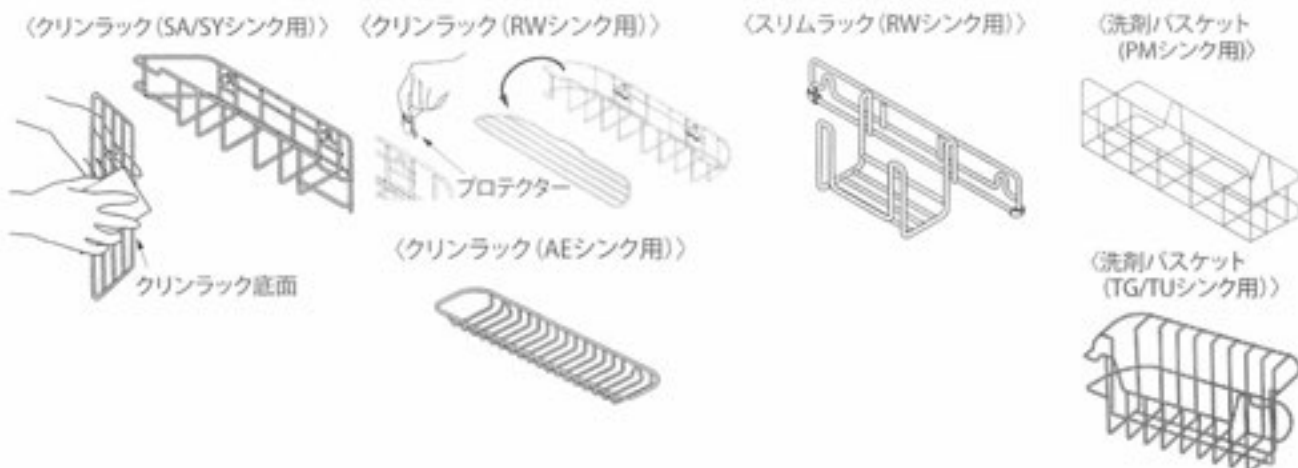
		ワークトップ・シンク用の洗剤	
洗剤類 (参考事例)		<b>台所用漂白剤(液状)</b>  各種 「キッチンハイター(液状)」 (花王株式会社)	<b>台所用漂白剤(泡状)</b>  各種 「キッチンハイター(泡状)」 (花王株式会社)
	液性・成分	塩素系の漂白剤・洗浄剤やアルカリ性の洗剤	
シンク	全て	 条件付で使用可	<b>●使用条件</b>  高濃度の原液や高温で使用したり、 長時間放置しないでください。 サビや変色の恐れがあります。
ワークトップ カウンター類	全て		 使用後 <u>すぐ</u> に十分に水洗いしてください。 必ず実行

クリンラック (RW シンク用)・クリンラック (SA/SY シンク用)・  
クリンラック (AE シンク用)・スリムラック (RW シンク用)・  
洗剤バスケット (TG/TU/PM シンク用) のお手入れ

- ・通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れは、ラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。  
汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。

**MEMO** クリンラック (AE シンク用を除く) は、一番汚れやすい洗剤やスポンジを置いている底面部分を外して、  
お手入れすることができます。  
クリンラック (RW シンク用) は、プロテクターを外してお手入れすることができます。

**注意** 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。





ワークトップ・シンク用以外の洗剤 ※ワークトップ用、シンク用ではないが使用する可能性のある洗剤類

排水パイプ用洗剤



塩素系のアルカリ性  
洗剤

排水パイプ用洗剤



ケイ酸塩  
('オルトケイ酸ナトリウム'  
と成分表記している洗剤)

排水口用洗剤



固形または  
粉末の塩素系の洗剤  
(ヌメリ取り剤など)

トイレ用洗剤など



酸性の洗剤  
(塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、  
研磨材入りの酸性の洗剤)

業務用洗剤



業務用洗剤



使用不可

**注意**

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。



使用不可

**注意**

腐食やサビの恐れが  
あります。



使用不可

**注意**

サビや変色の恐れが  
あります。



使用不可

**注意**

長時間接触により、  
固着や変色の恐れが  
あります。

## まな板ラックのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、まな板ラックを外し、小さなブラシを使ってお手入れしてください。

**注意**

樹脂部品の溝に、汚れがたまったまま放置しないでください。ステンレスシンクのサビやヌメリの原因となります。

## 4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

## ● 使い方

取り付け、取り外しは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。

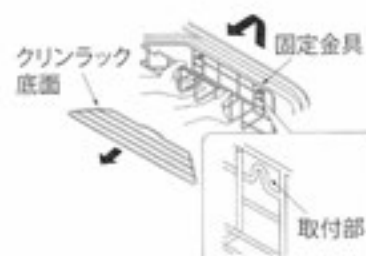
## クリンラック（SA/SY シンク用）の脱着

## 取り外し方

1. 底板部分を外す。
2. クリンラックの全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから、手前に引く。

## 取り付け方

1. シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。
2. 底板部分を戻す。



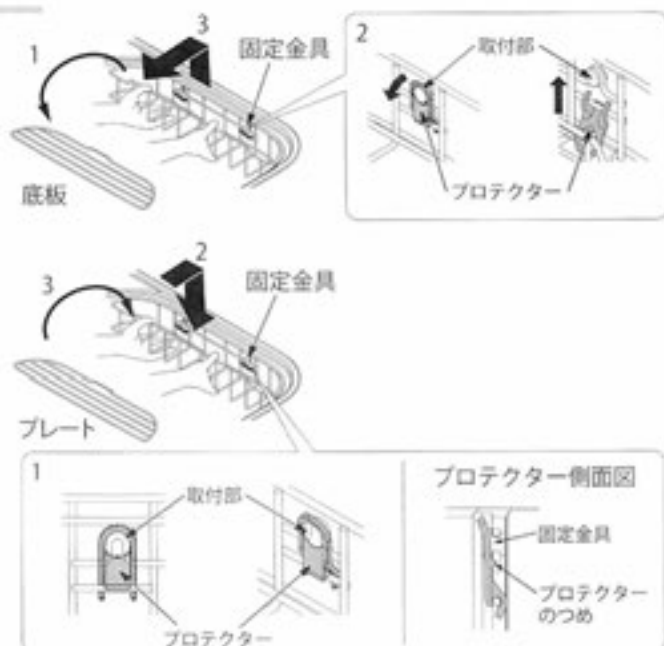
## クリンラック（RW シンク用）の脱着

## 取り外し方

1. 底板部分を外す。
2. プロテクターを下げる。
3. クリンラック全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから手前に引く。

## 取り付け方

1. クリンラックの取付部のU字とプロテクターの穴の円を合わせる。
2. 両端の固定金具に取付部を上から引っ掛ける。
3. 底板部分を戻す。



**注意** プロテクターの後ろにあるつめが固定金具にしっかり引っ掛かっていることを確認してください。

**MEMO** プロテクター本体をお手入れする際は、プロテクターをクリンラックから取り外してください。クリンラックをシンクから取り外した状態で、クリンラックを押さえながら、プロテクターを斜めに引っ張ると外れます。

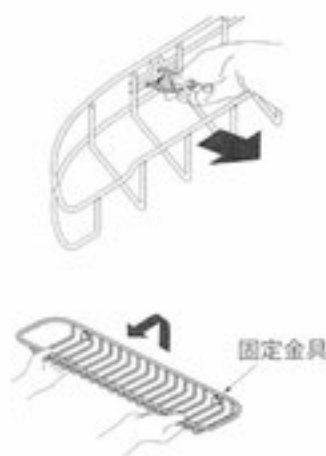
## クリンラック（AE シンク用）の脱着

## 取り外し方

クリンラックの全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから、手前に引く。

## 取り付け方

シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。



## スリムラック（RW シンク用）の使い方

食品トレーやペットボトルの水切り、まな板やスポンジ置きなど様々な使い方ができます。シンク内の固定金具だけでなく、クリンラックや水切りバスケットにも引っ掛けることができます。

**MEMO** まな板を置く場合は、必ずスリムラックを固定金具に取り付けた状態で置いてください。

## スリムラック (RW シンク用) の脱着

## 取り外し方

スリムラック全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから手前に引く。

## 取り付け方

両端の固定金具に取付部を上から引っ掛ける。



## まな板ラック (RW/SA/SY シンク用) の脱着

## 取り外し方

フックの部分を内側に押してフックを外し、クリンラック・スリムラック (RW シンク用) からまな板ラックを外す。

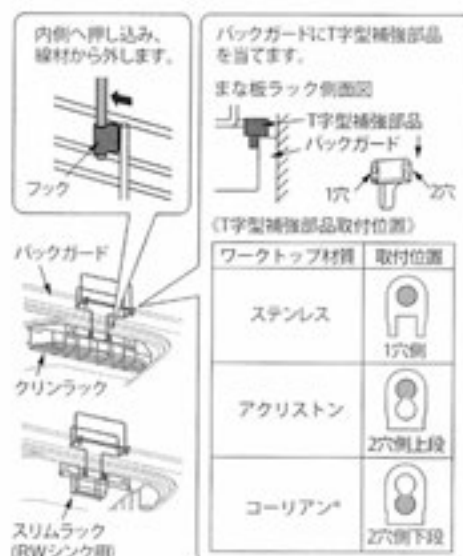
## 取り付け方

片側のフックをクリンラック・スリムラック (RW シンク用) にはめ、もう片側のフックを内側に押し込みながらクリンラック・スリムラック (RW シンク用) にはめる。

T字型補強部品をシンクのバックガードに当たるように取り付け、まな板ラックを動かしてみ、クリンラックから外れないことを確認してください。

## MEMO

- ・つねにT字型補強部品がバックガードに当たるようにしてください。
- ・T字型補強部品はワークトップの材質によって取付位置が異なります。取り外した場合は右図を参考に元の位置に取り付けてください。



## 注意

まな板ラック (RW/SA/SY シンク用) は、フィオレストーン®ワークトップには取り付けできません。

## 洗剤バスケットの脱着 (TG/TU/PM シンク用)

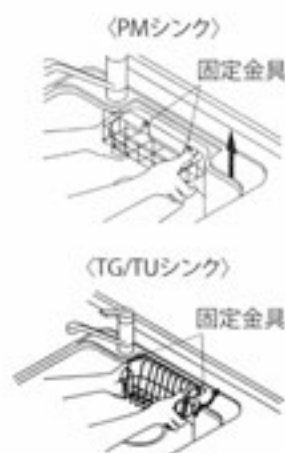
## 取り外し方

PM シンク用：洗剤バスケットの前面を持ち、そのまま上に引き上げる。

TG/TU シンク用：洗剤バスケットの前面を持ち、奥側へ傾け、固定金具から外した状態で上へ持ち上げる。

## 取り付け方

取り外したときと逆の手順で、固定金具に取り付ける。



## まな板スタンドの使い方

- ・まな板スタンドは、ワークトップ上に広げて立て、まな板を立てることができます。収納する場合は、樹脂部品をワイヤーラックの線材に、上からはめ込んでください。
- ・まな板スタンドに収納できるまな板の厚さは、3.5cm以下です。

## 参照

アクセサリパーツのご案内は、下記ページを参照してください。  
9.1. シンク用アクセサリパーツ P.62 ~ 63



## 4. 調理アイテムの使い方

### 4.2. 排水口周り

#### 使用上の注意



必ず実行

**浅型カゴ、排水目皿は必ず取り付けて使用する。**  
排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。







必ず実行

**浅型カゴ、クリンコーナーにためたゴミは、こまめに捨てる。**  
半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。

#### MEMO

水切りネットを使用した場合、ゴミがつまりやすくなる場合がありますので、よりこまめにゴミを捨ててください。  
なお、ご使用になる場合は、下表を参考にしてください。

浅型カゴ	クリンコーナー
小判型用／三角コーナー兼用などのストックタイプ ※20×15cm／20×20cmと記載のあるもの（伸張時）が目安  拡大イメージ  使用時	三角コーナー用のネットタイプ ※25×25cmと記載のあるものが目安  拡大イメージ  使用時



必ず実行

**浅型カゴのお手入れは、必ず排水口本体から取り外して行う。**  
設置した状態で強い力を与えると、変形したり、傷がつく恐れがあります。



禁止

**防臭パイプや防臭器は、通常使用時に取り外さない。**  
排水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



禁止

**洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。**  
変色の恐れがあります。

## ● 使い方

### 排水トラップの使い方

排水トラップは、下図のような構成になっています。

- 排水トラップの役割は、封水することにより、排水管からの悪臭を防止し、防虫することです。



※ AE シンク用排水プレートは  
美コートなし。

SA/SY/RW/AE シンク

TG/TU シンク

PM シンク

#### 参照

アクセサリパーツのご案内は、下記ページを参照してください。  
9.1. シンクアクセサリパーツ P.62 ~ 63

## 4. 調理アイテムの使い方

### 4.2. 排水口周り

#### お手入れのしかた

##### 部品ごとのお手入れ方法



必ず実行

下表を参照し、適切なお手入れを行う。

排水口周りの、各部品のお手入れは下記の表を参考に行ってください。

**MEMO** ④防臭器および⑤防臭パイプ P.31 参照の取り外しは反時計回りに回し、取り付けは時計回りに回してください。

#### 注意

- ・排水パイプ用洗剤を使用する場合は、必ず使用前に、洗剤の使用方法・注意をお読みください。
- ・万一、使用不可の洗剤を誤って使用した場合やシンクやワークトップに洗剤が付着した場合は、すぐに十分な水できれいに洗い流してください。サビや変色の原因になります。

	排水口周りのお手入れ方法	
	通常のお手入れ	
洗剤類 (参考事例)	 <b>中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤</b> 各種「ファーマーシリーズ」(花王株式会社) 各種「チャーミーシリーズ」(ライオン株式会社)	
液性・成分	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤	
①排水プレート (美コート付)	<b>週1度以上のお手入れ</b>  <b>使用推奨</b>	<b>MEMO</b> ステンレス部分は美コートが施されています。 ステンレス(美コート付)のシンク同様のお手入れを行ってください。(P.26参照)
②浅型カゴ (美コート付)		
①排水プレート (樹脂製)	<b>週1度以上のお手入れ</b>  <b>使用推奨</b>	<b>①</b> 洗剤をつけたスポンジで洗う。 <b>②</b> 水で洗剤を洗い流す。
②浅型カゴ (樹脂製)		
③排水目皿		
④防臭器 ⑤防臭パイプ	<b>月1度程度のお手入れ</b> <b>臭いやつまりを感じたら</b>  <b>使用推奨</b>	<b>①</b> 洗剤をつけたスポンジや洗淨ブラシでこすり落とす。 <b>②</b> 水で洗剤を洗い流す。
⑥排水口本体		
⑦排水パイプ (ホース)	<b>週1度程度のお手入れ</b>  <b>使用推奨</b>	<b>①</b> 防臭器または防臭パイプを取り外す。 <b>②</b> 洗い桶に1~2杯(5~10ℓ)のぬるま湯をため、台所用中性洗剤を混ぜる。 <b>③</b> 排水口に向けて勢よく流す。





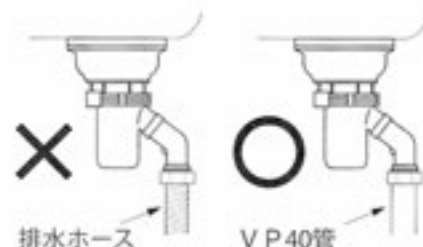
## 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、下記点に注意し、洗浄業者と打ち合わせしてください。

- ・洗浄前に③排水目皿と④防臭器または⑤防臭パイプを取り外し、洗浄後は必ず取り付けてください。
- ・排水口・排水トラップに高い水圧をかけないようにしてください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。
- ・集中洗浄（高圧洗浄）機についているホースは樹脂製を推奨します。

### 注意

排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。フリーパイプや肉厚管（VP管）などで直管配管している場合のみ、高圧洗浄が可能です。



## 排水口周りのお手入れ方法

### 月1度のお手入れ・使ってはいけない洗剤

#### 排水パイプ用洗浄剤



塩素系のアルカリ性  
洗剤

#### 排水パイプ用洗浄剤



ケイ酸塩  
（「オルトケイ酸  
ナトリウム」と成分  
表記している洗剤）

#### 排水口用洗浄剤



固形または  
粉末の塩素系の  
洗浄剤  
（ヌメリ取り剤など）

#### トイレ用洗浄剤など



酸性の洗浄剤  
（塩酸・硫酸・フッ酸など  
の強酸、研磨材入りの  
酸性の洗浄剤）

#### 業務用洗剤



業務用洗剤



使用不可

### 注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口  
本体に残らないよう、水できれいに洗い流して  
ください。

#### 月1度程度のお手入れ



条件付きで使用可

#### ●使用条件

- ・月1度のお手入れのみ  
使用する。
- ・排水パイプ（ホース）以外  
に付着した場合は、すぐに  
十分な水で洗い流す。

①排水プレート、浅型カゴ、防臭器または防臭パイプを取り外す。

②排水パイプ用洗浄剤を、直接  
排水パイプ（ホース）へ注ぎ、  
洗浄する。

③洗浄後、十分に水を流す。



使用不可

### 注意

長時間接触により、  
固着や変色の恐れ  
があります。



使用不可

### 注意

腐食やサビの  
恐れがあります。



使用不可

### 注意

サビや変色の  
恐れがあります。



使用不可

### 注意

長時間接触に  
より、固着や変色  
の恐れがあります。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に  
残らないよう、水できれいに洗い流してください。

## 5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

### 5.1. キャビネットの収納例

本項では収納例をご紹介します。豊富な収納を持つキッチンですので、ご参考の上、お役立てください。なお、キッチンにはさまざまな形状やキャビネット構成があるため、イラストとお客様がご使用の商品とは異なる場合があります。

#### コンロキャビネット

##### 引出し部 (1 段目)

使用頻度の高い調味料などを収納  
スパイス類、袋物調味料、小物調味料など

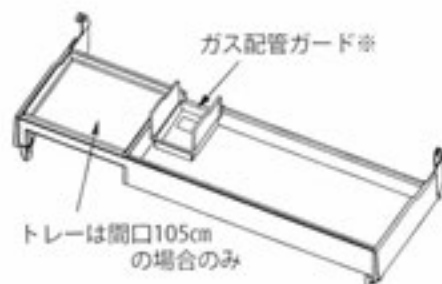
〈ガスコンロ・IH 用〉



〈グリルレス用〉



##### スライドボックス



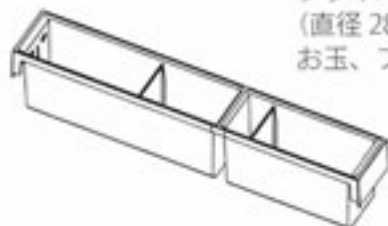
主に火周りで使用する両手鍋などの使用頻度の高い調理道具を、トレーにはミトンや鍋敷きなどを収納



※ガス配管ガードはガス配管に収納物がぶつかるのを防ぐために設置しています。収納物は絶対に入れないでください。

##### ツールポケット

フライパン、片手鍋などの使用頻度の高い調理道具や、調味料ボトルを使いやすい位置にまとめて収納  
フライパン (直径 28cm まで)、片手鍋、鍋フタ (直径 28cm まで)、しょうゆ、みりん、酒、油  
お玉、フライ返し、菜箸、トングなど



**注意** 柄などがスライドボックスに当たらないことを確認して収納してください。

##### 引出し部 (2 段目)

専用鍋や深鍋、圧力鍋などを収納



##### フロアコンテナ

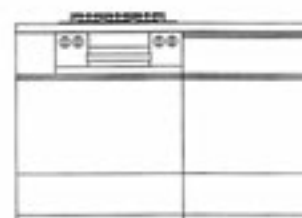
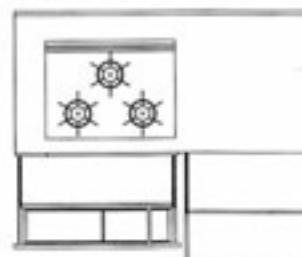
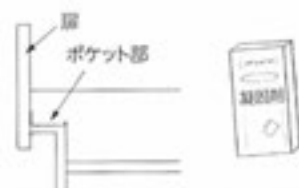
使用頻度の低い鍋やフライパン、季節使いの調理器具などを収納

鍋、フライパン、カセットコンロ、ホットプレート、土鍋など



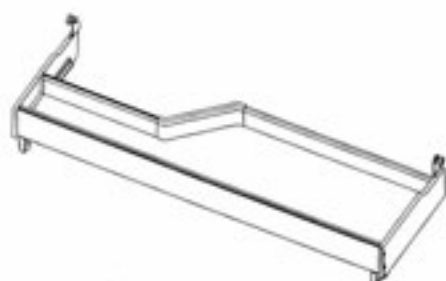
##### ポケット部

家庭用油凝固剤など



## シンクキャビネット

### スライドボックス



主に水回りで使用する調理道具などの使用頻度の高い調理道具を、取り出しやすい場所にまとめて綺麗に収納  
ボウル、ざる、スケール、計量カップなど

### ツールポケット



まな板やラップなどの調理器具を使いやすい位置にまとめて収納  
まな板、バット、泡だて器、ラップ、アルミホイル、保存袋、包丁（5本）など



### 引出し部



水回りでよく使用する調理道具などを収納  
ボウル、ざる、計量カップ、はかり、ふるい、トレー、樹脂容器など

### フロアコンテナ

使用頻度の低い家電や、清掃道具などの日用ストック品などを収納  
スポンジ、洗剤、タワシ、漂白剤など

### ポケット部

ラップ、ゴミ袋、スポンジ  
アルミホイルなどのストック品など

## ベースキャビネット

### 引出し部

背の高い調味料を収納  
水、ワイン、油、パスタケースなど

### フロアコンテナ

食品の日用ストック品を収納  
缶詰、ビール（500ml）、樹脂容器など

## 5.2. 包丁差し

包丁差しは2種類のタイプがあります。使用されている包丁差しをご確認の上、お読みください。

〈ツールポケット用包丁差し〉

〈ロック付斜め包丁差し〉



## 使用上の注意



必ず実行

**包丁は水気をよく拭き取ってから収納する。**

包丁をぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形したり、腐食したりする恐れがあります。



必ず実行

**確実に包丁を差し込む。**

扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをすることがあります。

## 使い方

## 収納できる包丁の本数・大きさ

部位		収納本数	刃の長さ	刃の厚み	刃の幅
ツールポケット用 包丁差し ※1	差込口(大) [前後]	2本	210mm以下	10mm以下	58mm以下
	差込口(小) [前後]	2本	210mm以下	6mm以下	58mm以下
	差込口(小) [中央]	1本	250mm以下	6mm以下	40mm以下
ロック付斜め包丁差し ※2	差込口(大)	2本	210mm以下	8mm以下	55mm以下
	差込口(小)	2本	210mm以下	5mm以下	55mm以下

## 注意

- ・包丁の形状によっては、上記の寸法を満たしていても収納できない場合があります。
- ・包丁のサイズ、形式によっては包丁が傾いて収納され、包丁差しの底面を傷つける場合があります。

## MEMO

包丁差しによっては差込口が大小2タイプあるものがあります。刃の厚みがある出刃包丁などは、差込口(大)に収納してください。

※1: ツールポケット用包丁差しでは、差込口により、収納できる包丁が異なります。刃先側の差込口に収納できない場合、柄側の差込口に収納できないかをご確認ください。

※2: ロック付斜め包丁差しでは、差込口により収納できる包丁が異なります。柄側の差込口に収納できない場合、刃先側の差込口に収納できないか、ご確認ください。

〈ツールポケット用包丁差し〉



差込口[前] 差込口[後]

〈ロック付斜め包丁差し〉



差込口(大) 差込口(小)

## ロックのしかた

## ●ツールポケット用包丁差し

包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを下へ押しながら「解除」方向へずらしてください。(ポケットカバー側を手で押さえると操作がしやすくなります。)

## ●ロック付斜め包丁差し

包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向(上)へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを「解除」方向(下)へずらしてください。



## ロックのしかた (つづき)

### 注意

- ・サイズの小さい包丁は、幅の狭い包丁差込口に収納してください。差込口とサイズが合っていないと、ロックが掛からない恐れがあります。
- ・刃と柄の部分に段差の少ないものや、柄の形状によっては、ロックが掛からず、引出しを引いた際に包丁が飛び出す恐れがあります。
- ・ロックを掛けるときは“カチッ”というまでロック方向にずらしてください。しっかりとロックが掛からず包丁が抜ける恐れがあります。



## 包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた

- ・包丁差しは、一部または全体を取り外してお手入れすることができます。
- ・包丁差しは、左右の向きを変えることができます。

### ● ツールポケット用包丁差し

#### 取り外し方

#### 1. 包丁差しが入っているポケットを外す。

- ① すき間スペーサーを真上に持ち上げて外してください。
- ② 包丁差しが入っているポケットを上を持ち上げるように外してください。



2. ロックキャップの矢印がポケット側の [I] から [▲] に合うよう、反時計回りにロックキャップを 180 度回して外す。  
ポケット連結側にロックキャップが固定してあります。



#### MEMO

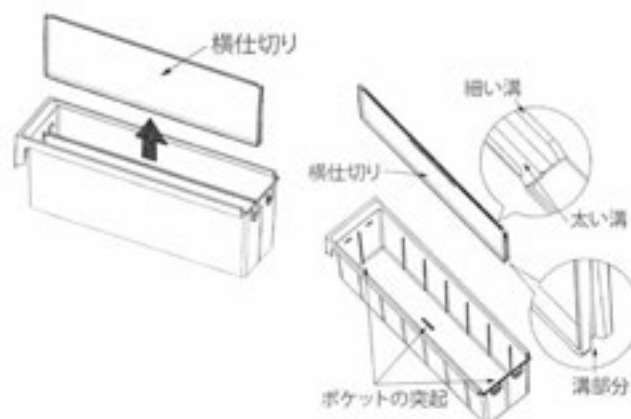
ロックキャップを回すときは、中央の凹形状に合わせて、コインなどを使うと簡単に回すことができます。

3. ロックキャップを外した長穴から、包丁差しの差込部分を押し出す。

- ① 包丁差しを右図の矢印の方向に持ち上げる。
- ② 斜め横に引き抜く。



4. 横仕切りを上引き抜く。



#### 取り付け方

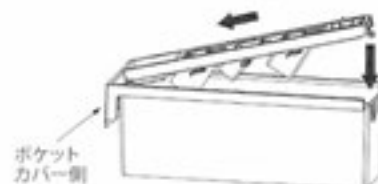
1. 横仕切りを取り付ける。

横仕切りは包丁差しが入る側に太い溝部が向くように取り付けてください。

2. 包丁差しを右図のようにポケットカバー側に差し込んでから取り付ける。

### 注意

ポケット位置を通常の向きと反転させて取り付ける場合も必ずポケットカバー側に先に差し込んでから取り付けてください。





## 5.2. 包丁差し

## 包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた (つづき)

3. ロックキャップを差し込み、時計回りに180度回して固定する。  
このときロックキャップの[▼]をポケット側の[↑]に確実に合わせてください。
4. 包丁差しが入っているポケットを真上から元の位置に取り付けて、横のポケットとの間にすき間スペーサーを取り付ける。



## 左右入れ替え方

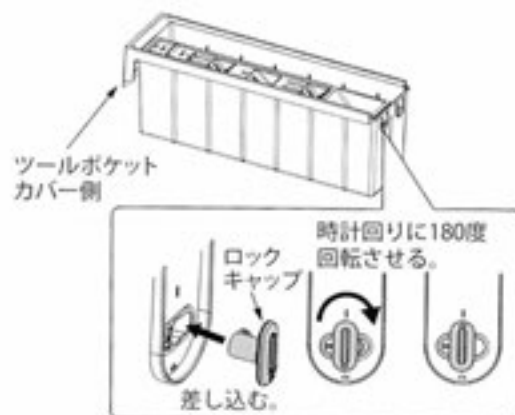
1. 脱着した包丁差しの左右の差込部に付いている、ロックキャップを反時計回りに90度回転させ、取り外す。
2. 包丁差し上部を反転する。



3. 包丁差し上部のロックつまみ側の止め具に、1. で取り外したロックキャップを取り付け、時計回りに90度回転させ、水平向きにする。



4. P.37 取り付け方 の手順に従い、ポケットに取り付ける。  
ポケットの外側から差し込むようにしてください。



## 包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた（つづき）

〈ポケット位置を反転させ、包丁差し位置も変更する場合〉

ツールポケット付キャビネットは通常では、引出しに向かって左側に包丁差し付ポケットが設置されています。使い勝手に応じて、ポケットの位置を反転する場合、包丁差しが奥側になってしまうため、手前側に設置する場合には以下の手順に従ってください。

**MEMO** 包丁差しが奥側でも使い勝手が問題なければ、変更する必要はありません。

1. ポケットを反転させ、ポケットに取り付いている穴隠しキャップを取り外す。  
ポケット外側は、ポケットカバー内に手を潜らせて同様に外す。  
・穴隠しキャップの裏側を押すと外れます。  
・見えにくく、外しにくい場合は、穴隠しキャップ表側からドライバー等を使用して、穴隠しキャップの下部へこみ部に引っ掛けるようにしてゆっくりと外してください。

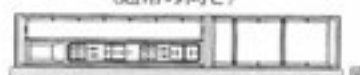
2. 1で外した穴隠しキャップを奥側のポケットの開口穴に“パチッ”と音がするまで押し込む。

穴隠しキャップのへこみ部を下に向けてください。

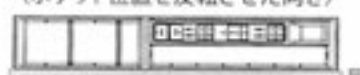
3. P.37 **取り付け方** の手順に従い、取り付けます。

**参照** 利き手によっては包丁差しの左右を入れ替えてご使用ください。P.38 **左右入れ替え方** 参照

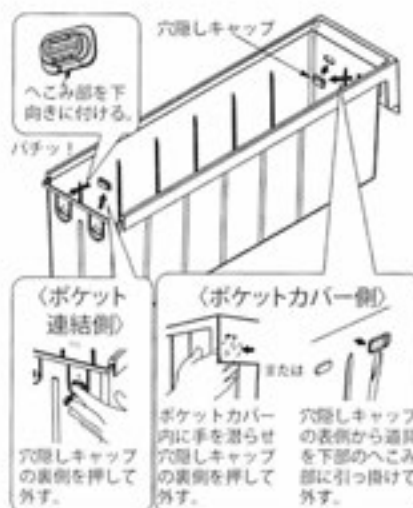
〈通常の向き〉



〈ポケット位置を反転させた向き〉



〈ポケット位置を反転、包丁差し位置も変更させた向き〉



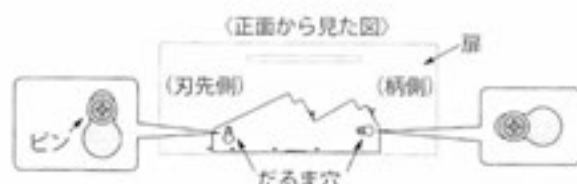
## 5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

### 5.2. 包丁差し

#### 包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた (つづき)

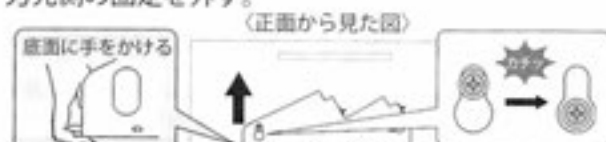
##### ●ロック付斜め包丁差しの場合

包丁差し本体のだるま穴に扉裏面の2つのピンを差し込んで固定しています。

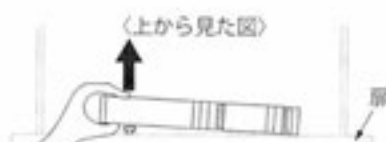


##### 取り外し方

##### 1. 刃先側の固定を外す。



- ① 本体底面に手をかけ“カチッ”というまで強く上に引っ張る。

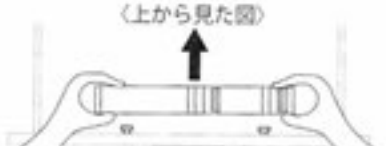


- ② 上にあげたまま、引出しの奥側へ動かす。

##### 2. 柄側の固定を外す。



- ① 柄側を“カチッ”というまで強く刃先側に押し出す。



- ② 刃先側に押しながら、引出しの奥側へ動かす。

##### 3. 包丁差しの底フタを外す。

底フタのつまみ(刃先側)に指をかけ、包丁差しの側面を開いて、底フタの突起を包丁差し側面の穴から外す。



##### 取り付け方

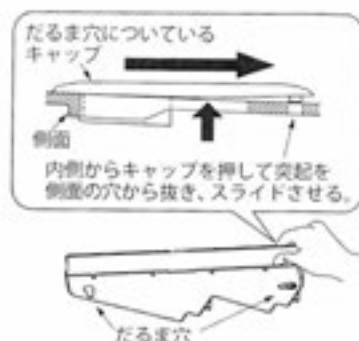
取り外したときの逆の手順で取り付け。

だるま穴の正しい位置にピンがはまると“カチッ”といます。

そこまでしっかりと押し込んでください。

##### MEMO

- ・本体と扉の間にすき間があると、ピンがはまらない場合があります。本体を扉に押し当てながら取り付けてください。
- ・包丁差しの向きを変える場合は、固定していなかった方のだるま穴についているキャップを包丁差しの内側から押しながらスライドさせて外し、反対側に取り付けてください。



## 5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

### 5.3. スライドボックス

スライドボックスはよく使う調理道具を手元に近い高さで出し入れでき、使用頻度に合わせて2層で効率的に収納できます。

引出しを引くと、スライドボックスも一緒に引き出されるので、開け閉めするわずらわしさを減らします。

〈コンロキャビネット〉  
スライドボックス



〈シンクキャビネット〉  
スライドボックス



#### 使用上の注意



必ず実行

調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しに変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

開閉する際は、スライドボックスの取っ手中央部を持ち、ゆっくりと前後にスライドさせる。

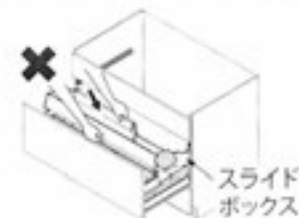
取っ手の端を持って操作したり、斜めに引き出したりすると、脱輪して破損する恐れがあります。



必ず実行

スライドボックスを脱着するときは、ツールポケットを取り外してから、引出しや扉裏面にぶつからないように注意する。

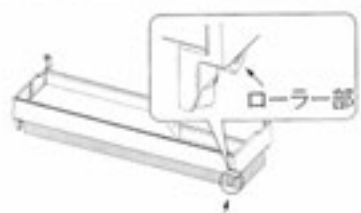
引出しやツールポケットが傷つく恐れがあります。



必ず実行

スライドボックスを床に置く際は、ローラー部分が破損しないよう、かさ上げして床に置く。

スライドボックスのローラー部（下部）をそのまま床に置くと、変形・破損する恐れがあります。

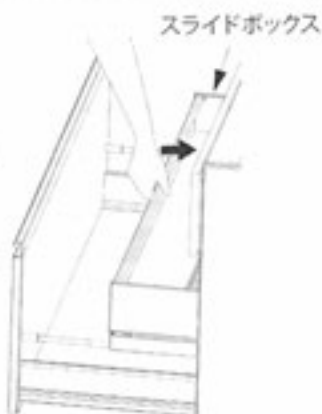


※かさ上げしてローラー部が床に触れないようにしてください。

#### 使い方

##### スライドボックスの使い方

- ・ 引出しを引き出すとスライドボックスも一緒に引き出されます。
- ・ 下段の中身を取り出したいときは、扉を押さえながら、スライドボックスの手掛け部の中央を持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください（手前をやや持ち上げながら動かすとスムーズにスライドできます）。
- ・ 引出しを閉めてから再度引き出すと、再びスライドボックスも一緒に引き出されます。



**注意** 手前を過度に持ち上げて操作すると、スライドボックスがガイドレールから外れる恐れがあります。

## 5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

### 5.3. スライドボックス

#### スライドボックスの脱着

##### 取り外し方

引出しを全開させて中の収納物を取り出してから、スライドボックスの前板と背板を持ち、斜め上へ持ち上げる。



##### 注意

- 必ず引出しを外す前にスライドボックスを外してください。スライドボックスを外す前に引出しを外そうとすると、部品が落下し、ケガをする恐れがあります。
- ガスコンロをご使用の場合、コンロキャビネット用スライドボックスには専用ガス配管ガードがついています。脱着時に他の部品に当たらないよう注意してください。

##### 取り付け方

- 右図のようにベアリングをスライドレールの溝に差し込む。
- サイドカバーの後方脚部がパイプカバーの立ち上がり部より奥になるようにセットする。

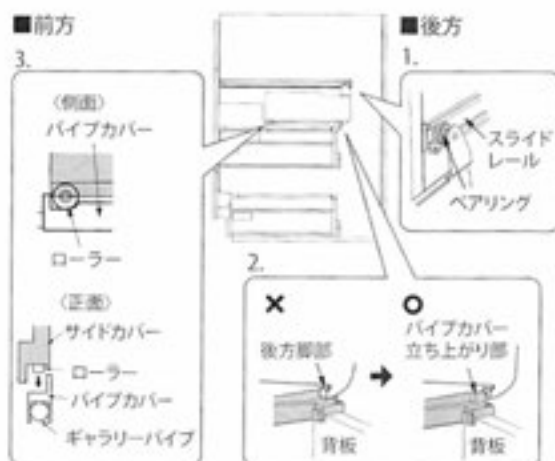
##### 注意

取り外す際、パイプカバー立ち上がり部に引っ掛かり取り出せなくなるため注意してください。

- 前方は、パイプカバーの手前側の1段下がっている部分にボックス前側のローラーが載るようにセットする。

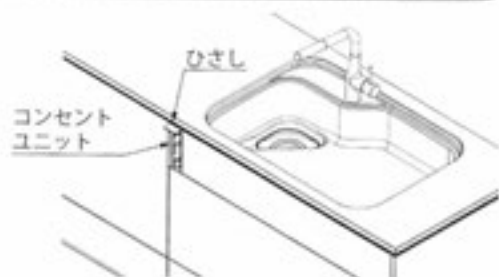
##### 注意

- ローラーが確実に載っているか、確認してください。ずれていると、脱落する恐れがあります。
- 引出しを3～4回開閉して、スライドボックスがガタつかないか確認してください。後方脚部がパイプカバーの立ち上がり部より手前になるように設置すると、正しくセットされず、スライドボックスがガタつく原因になります。



## 5.4. シンクキャビネット (コンセント付)

キッチン作業面で調理家電を使用できます。  
使用時はワンタッチでコンセントを出すことができ、  
使用しないときはコンセントを隠すことができます。



#### 使用上の注意



禁止

コンセント差込口カバーを開けた状態や電源プラグが差し込まれたままで、コンセントユニットのフタを閉めない。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、破損により、液体がコンセントユニット内部に浸入し、感電・漏電・火災の恐れがあります。



禁止

電源コードを抜き差しする際に、コンセントユニットのフタ・差込口カバー・扉などに当たらないように注意する。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、電源プラグが当たることで、塗装がはがれる恐れがあります。



禁止

差込口カバーを開きすぎたり、力を加えたりしない。

差込口カバーやコンセントユニットが破損する恐れがあります。





## 使い方

### コンセントの使い方

- 下図○部付近を押して、コンセントユニットのフタを開け、差込口カバーを上上げた状態で、調理器具の電源プラグを持ち、コンセントにまっすぐ差し込みます。(電源プラグを差し込んだ後、差込口カバーは電源プラグに沿うように、自然に下がります。)

〈コンセント  
ユニットの  
フタ閉時〉

〈コンセントユニット  
のフタ開時  
(差込口カバー 閉時)〉

〈コンセント  
差込口カバー  
開時〉



- コンセント使用後は、電源プラグを抜き、差込口カバーを閉じ、上図○部付近を押して、コンセントユニットのフタも閉じてください。
- コンセントは2口合計 1500W の容量の器具が使用できます。

#### 注意

- 電源コードが引出しや扉に掛からないよう、ワークトップの上に載せて使用してください。電源コードが掛ったまま引出しを開閉すると、コンセントユニットに負荷がかかるだけでなく、電源コードの断線などにつながる恐れがあります。
- 電子レンジ、卓上の食器洗い乾燥機など、規定以外のプラグを使用した機器には使用しないでください。
- 使用時に電源コードを引っ張りかねない機器(掃除機など)は、コンセントユニットに負荷がかかる可能性があるため、使用しないでください。



## お手入れのしかた

### コンセントユニット(ひさしを除く)のお手入れ

#### 通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

#### 汚れた場合のお手入れ

コンセントユニット(差込口を除く)の汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしぼってから、拭き取ってください。その後乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

#### 注意

- コンセントユニットをお手入れする際は、必ず電源プラグを抜いてからお手入れをしてください。
- メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗剤などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。
- コンセント差込口は水拭きせず、必ず乾いた布で汚れやホコリを拭きとってください。

### ひさしのお手入れ

#### 通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

#### 汚れた場合のお手入れ

汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

#### 注意

- メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗剤などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

## 5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

### 5.4. シンクキャビネット (コンセント付)

#### こんなときは

##### 差込口カバーの取り付け方

万一差込口カバーが外れた場合は、下記手順に沿って取り付けてください。

1. 差込口カバーのどちらか一方の回転軸をコンセントユニット本体側の回転軸穴にはめ込む。
2. もう片側の回転軸をコンセントユニット本体側の溝に沿わせながら、回転軸穴にはめ込む。



#### 注意

差込口カバーが取り付けられない場合は、差込口カバーの回転軸もしくは回転軸穴に不具合が生じている可能性があるため、使用を停止し、直ちにお買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

#### 参照

アフターサービスのご用命 裏表紙

## 5.5. 網カゴスライドキャビネット

網カゴスライドキャビネットには、上下の網カゴに調味料の小ビンなどが収納できます。



#### 使用上の注意



勢いよく引出しを閉めない。

禁止

故障や破損の原因になります。

#### 使い方

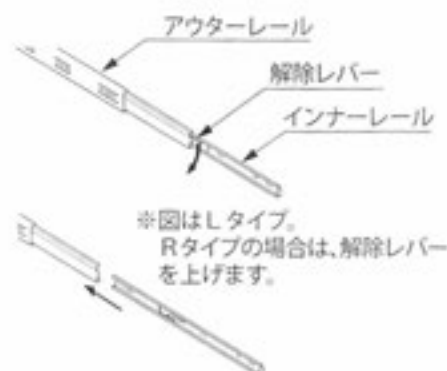
##### 脱着・調整のしかた

###### 取り外し方

インナーレールについている解除レバーを下げながら (Rタイプの場合は上げながら)、レールを引き出す。

###### 取り付け方

アウターレールにインナーレールを合わせ、差し込む。解除レバーがアウターレールに完全に隠れるまで、確実に差し込む。



## 脱着・調整のしかた（つづき）

### 〈上下調整のしかた〉

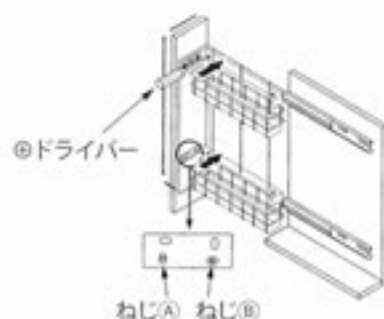
長穴を利用し、右図のねじ④4本を使用します。

### 〈左右調整のしかた〉

右図のねじ⑤2本を使用します。

### 〈前後調整のしかた〉

右図の矢印の箇所から⑥ドライバーを差し込み、奥にあるねじを使用します。ねじをゆるめ、前後調整した後、確実にねじを締め直してください。



## 5.6. 開き扉・引出し・棚板・点検口

### 使用上の注意

#### ●開き扉、引出し



必ず実行

コンロキャビネットの引出しは、コンロと接触しないように調整する。  
コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。



禁止

扉と引出しを過度な力で勢いよく閉めない。  
サイレント効果が弱まる恐れや、サイレントダンパー、プルモーション機構が破損する恐れがあります。



必ず実行

開き扉内の内引出しを引き出す場合は、開き扉をしっかり開く。  
内引出しと開き扉がぶつかり、傷の原因になります。



禁止

引出しにものを入れすぎない。  
収納物の重量や高さによっては、引出しの開閉がしにくくなったり、収納物が上の扉とぶつかったりする恐れがあります。また、引出しの変形・破損の原因になります。  
スライドボックス付の場合、引出しやツールポケットには、スライドボックスとぶつからないように収納物を入れてください。

参照 重量に関する規定 P.18



必ず実行

引出し内の左右のギャラリーパイプやスライドボックスよりも外側に収納物が出ないようにする。  
キャビネットや扉を傷つけたりする恐れがあります。



禁止

ギャラリーパイプを持って引出しを脱着しない。  
故障する恐れがあります。

#### ●サイレントダンパー



禁止

サイレントダンパーは設置位置を変えない。  
効果を発揮させるための、最適な位置に取り付けてあります。無理に固定ねじをゆるめて位置を動かすと、サイレントダンパーが外れたり、破損したりする恐れがあります。

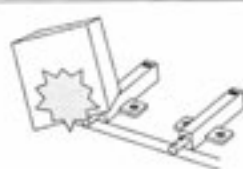


#### ●プッシュラッチ



必ず実行

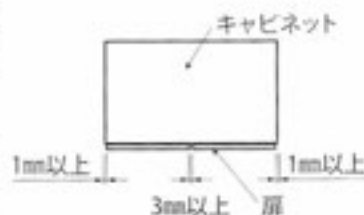
プッシュラッチを避けて収納する。収納物を取り出すときは、プッシュラッチに当たらないようにする。  
収納物が当たって、プッシュラッチが破損する恐れがあります。



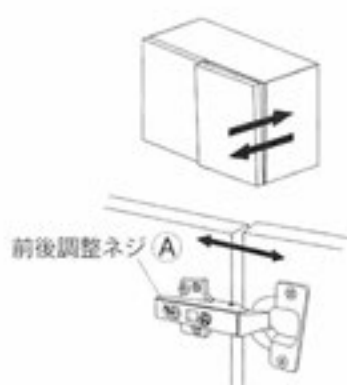
## 使用上の注意

### 開き扉の調整のしかた

- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかりと締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

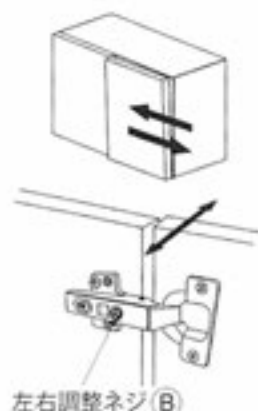


#### ●前後調整



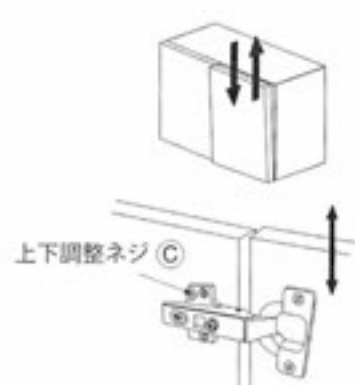
ねじ①を左に回すと扉が前に、右に回すと扉が後に動きます。

#### ●左右調整



ねじ②を右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

#### ●上下調整



ねじ③をゆるめて扉を上下に調整した後、調整ねじ③を締め直します。

**MEMO** コーナー用扉の場合は、前後・左右の調整時に扉の動く向きが図と逆になります。

### 丁番のお手入れ

- 丁番はときどき汚れやほこりを取り除いてください。
- 潤滑油などをときどき注油していただくと、開閉がなめらかになります。

### サイレントダンパーの脱着

（サイレントダンパー）



（丁番）

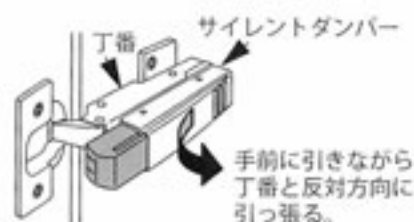


※サイレントダンパーは機構上、すべての丁番にはついていません。扉の片側（上部または下部）、もしくは扉の大きさや扉の種類によっては両側（上部および下部）についている場合があります。サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けてください。

#### 取り外し方

サイレントダンパーを手前に引きながら、手前側を丁番と反対方向に引く。

サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けてください。



## サイレントダンパーの脱着（つづき）

### 取り付け方

1. サイレントダンパーの裏面のつめが、丁番の長方形の穴に入るように合わせる。
2. 手前側が浮かないようにしっかり抑える。
3. 奥側を“カチッ”と音がするまで丁番側に押し込む。



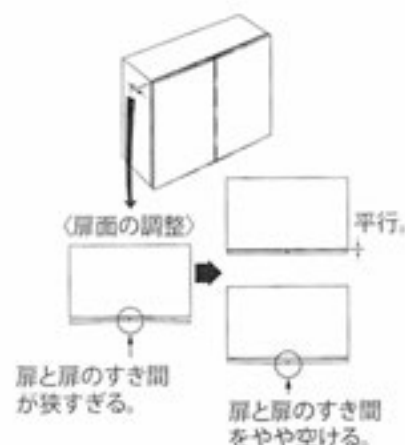
### 注意

サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

以下の場合、サイレント効果が弱いと感じられます。

- ①扉を閉めた状態で、扉の丁番取り付け部よりも、扉の裏面がキャビネット本体に近すぎるとき。
- ②小さいサイズの扉のとき。
- ③左右両開き（観音開き）扉で、片方の扉を開けた状態で、もう片方を閉めたとき。

上記①、②の場合には、扉面がキャビネットと平行、もしくは扉の裏面をキャビネットからやや離すように扉を調整してください。



## コーナー用サイレントダンパーの調整のしかた

コーナーキャビネット、コーナー吊戸棚には右図のようなサイレントダンパーがついています。ダンパーの押し代を伸ばしたり、縮めたりすることで、扉を閉めるときに、ダンパーが扉の裏面に接触してから閉まりきるまでの時間を調整することができます。

- ・ サイレントダンパーのねじを正面から向かって反時計回りに回すとダンパーの押し代が伸びて、扉が閉まりきるまでの時間が長く（強）なります。時計回りに回すと押し代が縮まり、時間が短く（弱）なります。
- ・ 扉を閉めるとき、扉裏面とサイレントダンパーの先端がこすれる音がする場合があります。その場合には、サイレントダンパーの先端部がずれないことを確認しながらサイレントダンパーのねじを回し、調整すると音は消えます（サイレント効果は変わりません）。



### 注意

サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

## サイレントダンパーのお手入れ

扉を開閉する頻度によっては、扉裏面のサイレントダンパーの接触する部分が汚れる場合があります。その場合は、中性洗剤を使って拭き取ってください。



## 5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

### 5.6. 開き扉・引出し・棚板・点検口

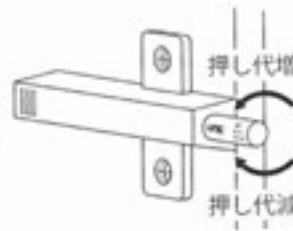
#### プッシュラッチの調節のしかた

- ・ プッシュラッチの先端を回転させることによって、扉の押し代を調整することができます。
- ・ プッシュラッチの先端を正面から向かって反時計回りに回すと、扉の押し代が増えます。時計回りに回すと扉の押し代が減ります。

〈コンロ横引出し〉



〈コンロ横引出し以外〉



#### 引出しの脱着

##### 取り外し方

1. 引出しに入っている収納物を全て取り出す。
2. 引出しをストップするところまで引き出す。
3. 少し持ち上げて(「パチッ」と音がしてロックが外れる)、レールと平行に静かに引き出す。

##### 取り付け方

1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥 1/3 くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す(「カチッ」と音がしてロックが掛かる)。
3. 3～4回引出しを開閉させ、引出しのプルモーション機構がしっかりと作動することを確認する。



#### 引出し前板の調整のしかた

引出しの裏面に前板調整部品がついている場合は、④ドライバーでねじをゆるめてから引出しを調整してください。調整後は必ずねじを締め直してください。

1. 脇力バーを外す。



2. 調整する方向によって、下図のようにねじを回す。

##### ● 前板傾き調整

(ギャラリーパイプ付の場合)



ギャラリーパイプを左に回すと手前に右に回すと奥に傾きます。調整します。

##### ● 上下調整



ねじAを左右に回して調整します。

##### ● 左右調整



ねじBを手前側に回すと左に奥側に回すと右に動きます。

〈ねじ位置の拡大図〉



3. 調整後、脇力バーを戻す。

##### 注意

コンロキャビネットの引出しは、コンロと接触しないように調整してください。コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。

- ・ 引出し前板の左右両端とキャビネットの外側との間隔が 1mm 以上になるよう左右調整してください。
- ・ 引出し前板とキャビネットが平行になるように調整してください。

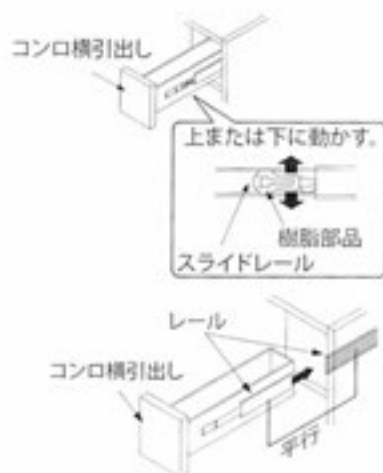
## コンロ横引き出しの脱着 (ステンレスキャビネットの場合)

### 取り外し方

1. 引き出しを引き出して、全開にする。
2. 右図のように、レールの樹脂部品を上または下へ動かして、さらにレールと平行に静かに引き出す。

### 取り付け方

右図のように、レールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かに奥まで押す。



## コンロ横引き出し前板の調整のしかた

コンロキャビネットのコンロ横引き出し前板を固定しているねじ穴は長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。ねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。

**注意** 扉を調整する場合は、ねじのゆるめすぎに気をつけてください。ねじをゆるめすぎると扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

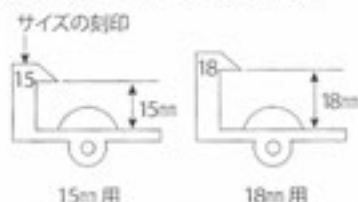
**MEMO** ・木製キャビネットの場合…長穴2カ所  
・ステンレスキャビネットの場合…長穴4カ所



## 棚板の脱着

### 取り外し方

1. 前側の左右の棚受けダボのつまめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
2. 棚板を前へ引いて取り外す。



**注意** 棚受けダボは、棚板の厚さ (15mm、18mm) によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。

### 取り付け方

1. 棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。  
幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

**注意** ・差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。  
・棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。

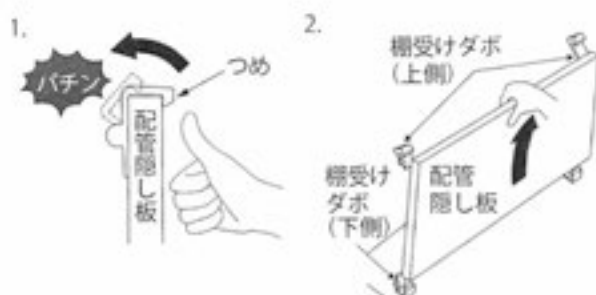
2. 後ろ側の棚受けダボのつまめに、棚板をしっかりとめ込む。
3. 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。  
つまめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。
4. 棚板にガタつきがないか、確認する。  
ガタつきがある場合は、取り付け直してください。



配管隠し板は食器洗い乾燥機用キャビネットの奥にあるため、はじめに引出しを取り出す必要があります。

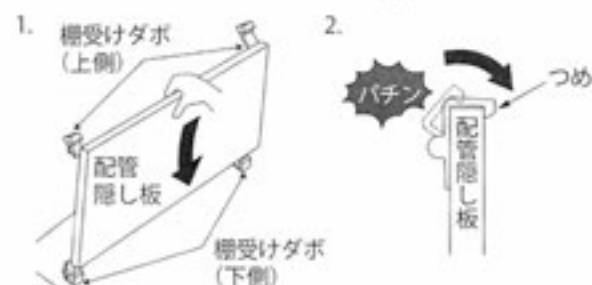
### 取り外し方

1. 上側の綱受けダボのつめを、“パチン”と音がして外れるまで強く押す。
2. 下側の綱受けダボを手前に引いて外す。



**取り付け方**

1. 下側の棚受けダボに配管隠し板を載せる。
2. 上側の棚受けダボのつめを音がするまでしっかりはめる。



食器洗い乾燥機用キャビネット（ステンレス製キャビネットの場合）配管プレートの脱着

配管プレートは食器洗い乾燥機用キャビネットの奥にあるため、はじめに引出しを取り出す必要があります。

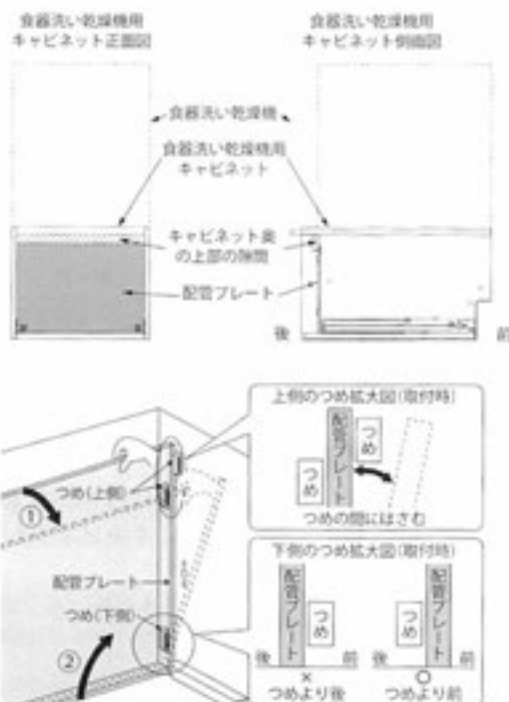
**参照** 引出しの脱着 P.48

取り外し方

1. キャビネット奥の上部のすき間から配管プレートの端をつまみ、手前に引き上側の左右のつめの間から外す。
2. 配管プレートを手前に引き、キャビネットから取り出す。  
配管プレートが、下側の左右のつめの手前に位置していることを確認してから取り付けてください。

**取り付け方**

取り外した時の逆の手順で取り付ける。



## 6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた

### ● 使用上の注意

昇降式の吊戸棚をご使用の際は、以下の点にご注意ください。



禁止

棚やラックが降りてくる範囲には、背の高いものを置かない。

収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。



禁止

棚に衝撃を与えるように、ものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。



禁止

棚にぬれた包丁・缶詰などの金属製品、塩・しょうゆを長時間放置しない。

もらいサビを引き起こす恐れがあります。



必ず実行

昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行う。

端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。

### ● お手入れのしかた

吊戸棚収納の各アイテムについて、特に記載がない場合は次の方法でお手入れをしてください。

- ・ 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・ 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。

## 6.2. ハンドムーブ

ハンドムーブは、調理道具や調味料、食器類などを収納できる上下可動式の収納ラック付吊戸棚です。洗った食器や調理道具などを収納できます。



## 使用上の注意



禁止

収納物や水受けトレイがはみ出したまま昇降させない。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットの破損の恐れがあります。



禁止

対面側からラックを上下操作しない。対面側から収納物を取り出さない。

ケガや破損の原因になります。収納ラックの操作は、キッチン側から行ってください。



必ず実行

お手入れの際は、収納重量とバネ切り替えレバーを目安の設定に合わせ、降ろしきった状態で行う。

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



禁止

お手入れの際は、ロック解除バーを手前に引かない。

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



禁止

ラックの背板に収納物を強くぶつけない。

庫内が変形して、水が垂れる恐れがあります。



禁止

水切りタイプにぬれたものを収納する場合、食器や調理器具に水気がたまったまま収納しない。

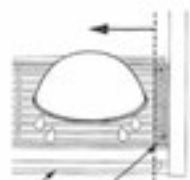
収納時に水が垂れ、庫内のすき間および下面から水が垂れる恐れがあります。



必ず実行

水切りタイプにぬれたものを収納する場合、水受けトレイ内に納まるように置く。

水受けトレイおよび、キャップレールより外側に置くと、収納庫の端から水が垂れる恐れがあります。



水受けトレイ キャップレール

## ハンドムーブの使い方

下げる場合は、昇降ハンドルの中央部を持ち、ロック解除バーをしっかり握って、ゆっくり手前に引きます。昇降ハンドルを引き切ったら、押し下げてください。上げる場合も同様にゆっくり操作してください。

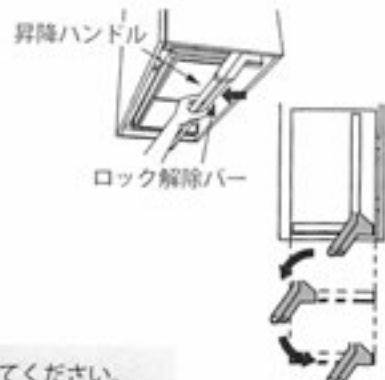
## MEMO

操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。

- ・収納庫全体の最大収納量は約 8kg です。
- ・収納できる大きさは高さ 35cm、奥行き 23cm までです。
- ・収納物の重さが偏らないように、均等に収納してください。

## 注意

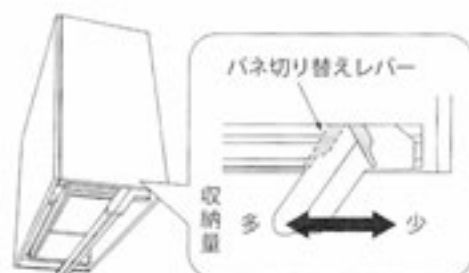
- ・食器や調理器具などにたまった水気をあらかじめ捨ててからしまってください。
- ・ぬれたまな板や洗ったものを背板に密着させて収納した場合に、背板や側板を伝って庫外に水が垂れることがあります。





## バネ切り替えレバーの調節

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。



- MEMO**
- ・使い始めや、何も収納物が載ってないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「小」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
  - ・収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げきってから、レバーを調節してください。

収納重量 (目安)	左レバー	右レバー
0～4 kg	少	少
4～7 kg	少	多
	多	少
7～8 kg	多	多

## 水切り棚の脱着

ゆっくりとキャップレールから外してください。  
取り付ける場合は、キャップレールのつめにしっかりと押し込んでください。



## 水受けトレイの脱着

両手で持ち、ゆっくりと手前にスライドさせ、外してください。



## ラックの脱着 (皿立てラック・カトラリーラックを除く)

### 取り付け方

1. 上棚板裏面の奥側にあるラック取付溝に固定パーツ①を下方向からはめ込む。  
固定パーツ①をはめ込む際は、右図を参照して向きに注意してください。
2. 回転プレートが手前にあるラック取付溝に平行であることを確認し、固定パーツ②を下方向からはめ込む。
3. 固定パーツ②の化粧ねじを上には押し込みながら締め、ラックを固定する。  
ラックの化粧ねじは確実に締め、固定パーツ①②が外れないことを確認してください。

### 取り外し方

外すときは、化粧ねじを上には押し込みながら、取り付けのときと逆の手順で外します。



## 6.2. ハンドムーブ

## 皿立てラックの脱着

水切り棚の目に合わせて置いてください。

**MEMO** 収納庫のたわみを避けるため、皿立てラックをご使用の際は、収納庫の中央付近への設置は避け、左右どちらかに寄せてご使用ください。中皿、大皿（直径 23cm）11 枚まで収納できます。



## カトラリーラックの脱着

カトラリーラックは水切り棚に取り付けて、箸や、スプーン、フォークなどのカトラリー類を収納することができます。カトラリーラックの脱着はハンドムーブ水切り棚の縦線材間の中央部で行ってください。

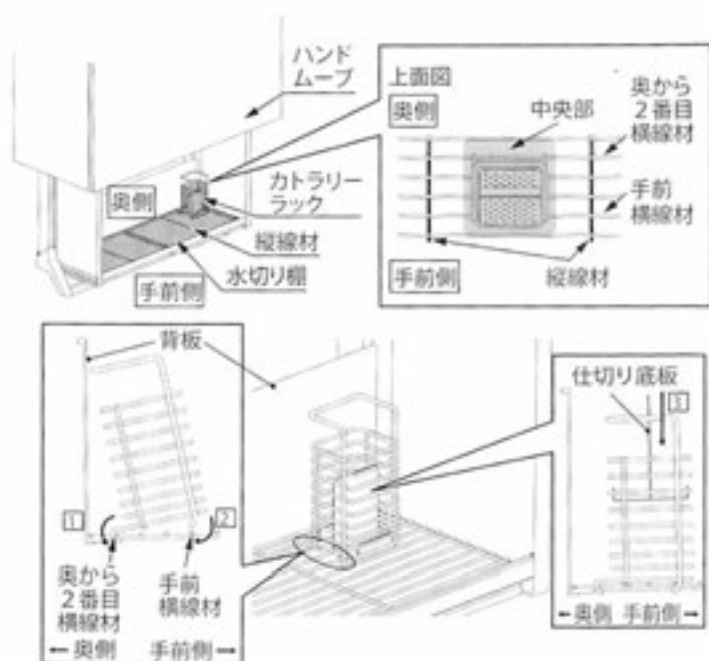
## 取り付け方

1. カトラリーラックのフック形状の脚を水切り棚の奥から 2 番目の横線材に引っ掛ける。
2. カトラリーラックの手前側の脚を本体を手前に引きながら水切り棚の手前の横線材にはめ込む。
3. 仕切り底板を上部から入れる。

## 取り外し方

取り付けのときと逆の手順で取り外す。

- MEMO**
- ・構造上、固定が固くなり、取り外しにくい場合があります。必ず、水切り棚を押さえながら取り外してください。
  - ・カトラリーラックの脱着はラック内および収納庫内の収納物を取り除いてから行ってください。
  - ・収納する際は、ハンドムーブ本体から収納物が出ないように収納してください（収納物長さ制限：30cm）。



## 7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

### 7.1. スライドパントリー

- ・スライドパントリーは、大型の扉面材で収納物を隠し、すっきりとしたキッチン空間を実現する引戸収納です。
- ・カウンタータイプは、2口のコンセント付で、ミキサーやブレンダーなどの調理器具を立てたまま収納でき、作業台としても使えます。
- ・下台のオープンタイプは、市販のゴミ箱を引き出さずにゴミを捨てることができます。底板がないので、重たいビンや飲料水など、ストック品の出し入れも容易です。



#### 使用上の注意



必ず実行

扉を開く際は、開く反対側の扉が閉まりきった状態であることを確認し、ゆっくりと開く。

異音や破損の原因となります。



必ず実行

内引出しを引き出す際は、扉が開ききった状態であることを確認し、引き出す。

内引出しと扉がぶつかって、破損する恐れがあります。



禁止

扉にもたれかかったり、扉を前後に強く押さないでください。

扉がたわんだり、部品が破損する恐れがあります。



禁止

勢いよく扉を開閉しないでください。

異音や破損の原因となります。

#### 使い方

##### スライドパントリーの使い方

扉端の取っ手中央部を持ってゆっくり開閉してください。

##### カウンターの使い方

- ・付属のコンセントは、合計 1500W までの機器が使用できます。
- ・蒸気が出る家電は使用しないでください。

## 7.2. ステップコンテナ

- ・ 高い位置のものを取るとき踏み台としても活用できる収納です。
- ・ 完全に引き出すと動かないように、自動的にロックが掛かります。



## 使用上の注意



必ず実行

ステップコンテナを開閉する場合は、扉中央部の取っ手を持ってゆっくりと開閉する。

扉の端で開閉すると、レールへの負荷がかかり、故障や作動不良の原因となります。

ステップコンテナ



禁止

ステップコンテナのステップ部（上フタ部）を収納物がはみ出した状態で閉めたり、無理に力を入れて急に閉めない。

開閉時に手や指をはさまないようにフタがゆっくり閉まる機構がついています。機構部への負荷は故障の原因になります。また、収納物がはみ出したり、機構部とぶつかった状態で無理に力を入れてフタを閉めると、フタや機構部の破損の原因となります。



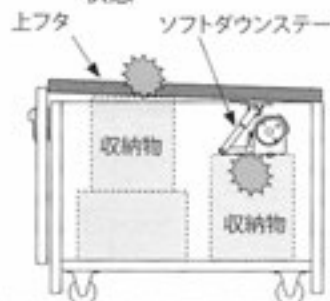
## 使い方

## ステップコンテナの使い方

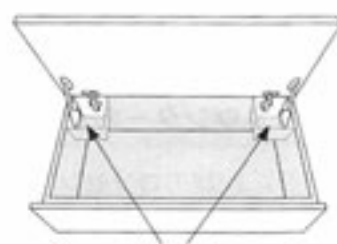
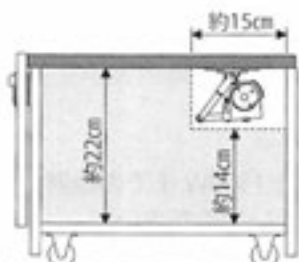
- ・ 台の中央部に乗って、高いところにある収納物を出し入れできます。
- ・ 取っ手を持ってステップコンテナを引き出してください。ロック機構が働くまで完全に引き出してください。収納する場合は、ステップコンテナ左右のロックレバーを上へ上げて、ロック機構を解除してください。
- ・ 上フタを開けるとステップコンテナの中に食器や道具類を収納できます。
- ・ ものが奥に落ちた場合や、掃除をする際には、ステップコンテナを引き抜くことができます。
- ・ 収納物が上フタ部やソフトダウンスターとぶつかった状態で使用すると、フタや機構部の破損の原因となります。ステップコンテナに収納物を入れる際には必ず下記内容を確認してください。



収納物が上フタやソフトダウンスターとぶつかり、フタが完全に閉まらない状態



※ 図中の点線部分が、ステップコンテナへの収納可能範囲です。記載の寸法以上の収納物は収納しないでください。無理に収納すると、機構部や丁番の破損の原因となります。



この部分には収納物を収納しないでください。

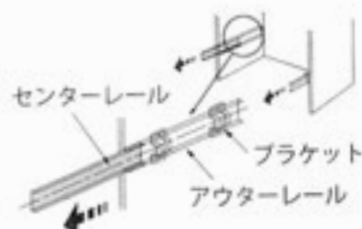
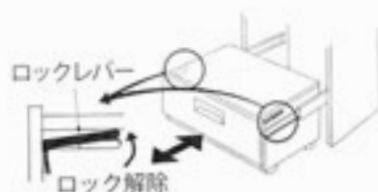
## ステップコンテナの脱着

### 取り外し方

1. ステップコンテナ左右のロックレバーに手を添えて、解除位置までロックレバーを上へ上げて解除する。
2. 両手でゆっくりとまっすぐに引き抜く。

### 取り付け方

1. キャビネット側のセンターレールを手前に引き出す。  
キャビネット側のアウターレールがブラケットから外れないように、引き出してください。



アウターレールがブラケットから外れないようにする。

2. ステップコンテナのロックレバーに手を添えて、解除位置まで両側のレバーを上へ上げる。

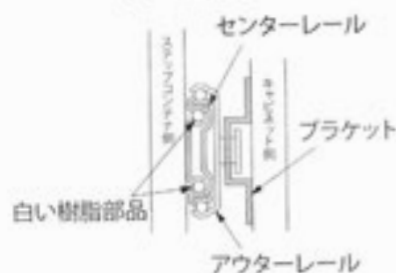


3. ステップコンテナのレールと、キャビネット側のセンターレールの内側にある白い樹脂部品がはさまるように位置を合わせて、左右片方ずつゆっくりとまっすぐに差し込み、約 20cm 収納後、手を離して扉を前から強く押して収納する。

ステップコンテナを斜めに差し込むと、下部のキャスターが一方方向にしか動かないため、必ずステップコンテナをまっすぐにして、差し込んでください。

センターレールは、固定されず内倒れしますので、手を添えながら差し込んでください。

4. ステップコンテナを完全に引き出して、ロックが掛かるか確認する。  
ロックがうまく掛からない場合は、もう一度引き抜いて最初からやり直してください。



× 内倒れに注意。



## ソフトダウンスターの開き角度の調整

ステップコンテナのフタを開けたときに、スターのアーム部がまっすぐでない場合は、図の開き角度調整ねじを④ドライバーで調整してください。アームが一直線に伸びた状態になるのが正しい状態です。



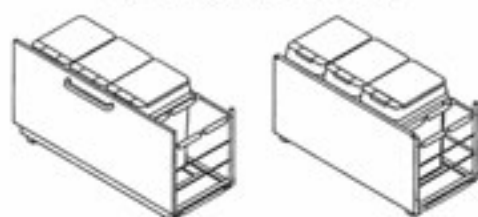


## 7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

### 7.3. リサイクルゴミワゴン

リサイクルゴミワゴンは、家電収納庫や引出し下のスペースに複数のゴミ箱が置け、資源ゴミの分別に便利です。キャスターつきなので作業中のゴミ捨ても簡単です。

〈リサイクルゴミワゴン〉



#### 使用上の注意



禁止

ポリ袋ストッパーと仕切りバーをワゴンの持ち手として使用しない。  
ポリ袋ストッパーと仕切りバーが取れる恐れがあります。



必ず実行

ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞紙にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。  
悪臭の原因になります。



禁止

生ゴミは収納しない。  
悪臭の原因になります。



必ず実行

ゴミ箱のフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。  
フタが開いている状態で収納しようとすると、フタが破損します。



禁止

ワゴンの出し入れ時に、収納するキャビネットや隣接するキャビネットに強く当てない。  
破損の原因になります。



禁止

キャスターにゴミや汚れがついた状態で使用しない。  
床材に傷や汚れがつく恐れがあります。

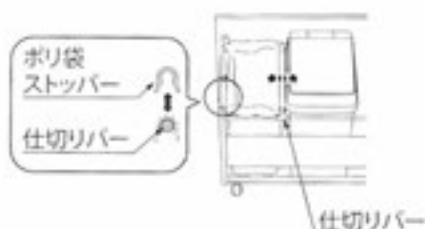
#### 使い方

##### リサイクルゴミワゴンの使い方

- リサイクルゴミを収納する場合は、汚れたものや水分が付着しているものは、汚れを落として、乾燥させてから収納してください。
- ワゴンの開閉時は、両手で取っ手または、前板上部を持ちながら引き出してください。ワゴンが左右にぶれず、引き出しやすくなります。

##### ポリ袋の止め方

- ポリ袋ストッパーの脱着がしやすいように、仕切りバーを横にスライドさせる。
- ポリ袋ストッパーを上につけて外す。
- 右図のようにポリ袋を広げて、袋の端をはさむようにポリ袋ストッパーで止める。



**MEMO** ポリ袋ストッパーがついていないタイプもあります。

## 7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

### 7.4. 家電収納庫

電気炊飯器、電気ポット、コーヒーマーカーを置くことができます。

〈家電収納庫〉



蒸気排出  
ユニット

#### 使用上の注意



家電の電源コードをスライド台のレールにはさまない。

禁止

断線、感電の原因になります。



スライド台を手前へ引き出した状態で、無理な力をかけない。

禁止

破損の原因になります。

#### 使い方

##### 家電収納庫の使い方

- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときに炊飯器などの家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。
- ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。
- 家電収納部の収納有効寸法は、下図をご参照ください。

〈家電収納部収納有効寸法（単位：cm）〉

機種	キャビネット 間口	蒸気排出 ユニット	収納部		
			高さ	間口	奥行き
家電収納庫下台	75	あり	33.7	69.9	35
		なし	42.8		
	78	あり	33.7	73.7	
		なし	42.8		
	90	あり	33.7	84.9	
		なし	42.8		

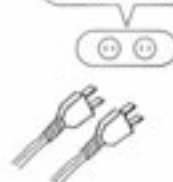
##### ●蒸気排出ユニット付タイプ

- スライド台をキャビネット内に収納したままで炊飯・沸騰ができます。
- 詳細な蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- 付属のコンセントで使用できる器具の容量・・・各口 1480W

##### ●蒸気排出ユニットなしタイプ

- 炊飯・湯沸かしなどを行うときは、スライド台をキャビネットから引き出した状態で使用してください。
- 付属のコンセントで使用できる器具の容量・・・各口 1500W

表示容量を超える  
器具を使わない。



**注意** 電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器、電子レンジは置かないでください。

## 8. 対面型キッチン・その他部材

### 8.1. フロントスクリーン

コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを軽減します。

〈ハイタイプ〉



〈ロータイプ〉



#### 使用上の注意



金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。  
傷がつく恐れがあります。

#### お手入れのしかた

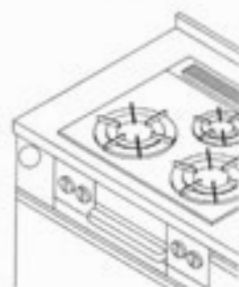
- ・汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。
- ・フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。キッチン側のガラス面に比べ傷つきやすいため、清掃時は気を付けてください。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

## 8.2. プッシュラッチ・扉開放防止部品

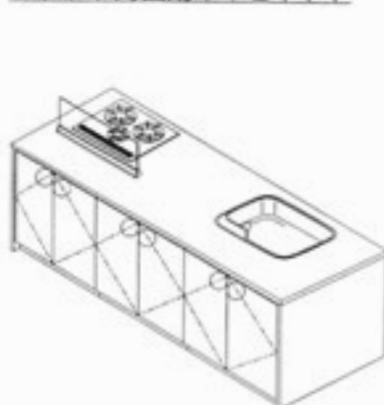
### プッシュラッチ

下图の○付近を押すと、扉が開きます。

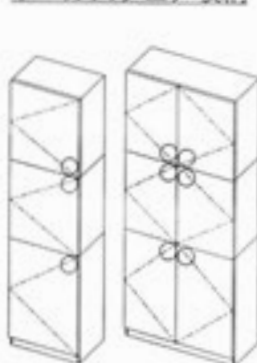
コンロキャビネット  
コンロ横引出し



フラット対面用キャビネット



トールスクエア収納



#### MEMO

押す場所やプッシュラッチの出代によっては、開閉しにくい場合があります。

○付近を押しても開閉しにくい場合は、P.48「プッシュラッチの調節のしかた」を参照し、プッシュラッチの出代を調節してください。

### 扉開放防止部品付キャビネットの使い方

- ・扉開放防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が働き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については補償の対象になりません。
- ・地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。
- ・扉を開ける際は収納物が出てくることもありますので、ご注意ください。

## 8.3. 照明器具

### ● 使用上の注意



接触禁止

照明器具は、使用中、使用直後は照明の表面温度が高くなっている  
ので、素手で触らない。

やけどする恐れがあります。



禁止

LED 照明を長時間直視しない。

LED 照明は輝度が高く、指向性が強いので、目を傷める恐れがあります。



禁止

LED 照明を取り外したり、分解したりしない。

器具の破損や火災の恐れがあります。

#### LED 照明について

- ・ LED 照明は、約 4 万時間の点灯で、約 70%の照度になります。
- ・ LED 照明には光のバラつきがあるため、発光性・明るさが異なる場合があります。
- ・ 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、向きを変えてください。

### ● お手入れのしかた

- ・ 明るく安全に使用していただくため、定期的（6 カ月に 1 回程度）に清掃してください。仕上げに乾いた布でもう一度器具を拭いてください。
- ・ 汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしぼってから、拭き取ってください。その後、乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

## 9. アクセサリーパーツのご案内

### 9.1. シンク用アクセサリーパーツ

シンク周りをより使い勝手よく使用できるアクセサリーパーツです。シンク形状により対応して、なります。よくご確認の上、ご利用ください。

※商品仕様は予告なく変更する場合があります。

#### ● 使用上の注意

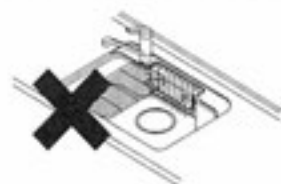
#### ● サポートプレート、まな板










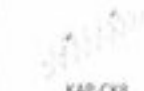











禁止

シンクにしっかり載せて使う。横にスライドさせない。

落下する恐れがあります。




#### ステンレスシンク用アクセサリーパーツ

キッチン奥行き		65cm./98cm			65cm./97cm		
お使いのシンク	ステンレスシンク	SYシンク	SAシンク	RWシンク	TUシンク	TGシンク	
		 W60×D52×H18.5cm	 W75×D52×H18.5cm	 W90×D52×H18.5cm	 W65×D48.5×H18.3cm	 W82×D48.5×H18.3cm	
付属品	クリンラック	 KAP-CK6	 KAP-CK5	 KAP-CK8	 KAP-SP7		
	スリムラック	—	※クリンラックを外して、スリムラック(RWシンク用)を付け替えることができます(オプション)。		—		
	クリンプレート	 KAP-HP11				 KAP-HP2	
	浅型カゴ	 KAP-AG3				 KAP-H7	
オプション品	サポートプレートメッシュタイプ	 ●ステンレス・アクリストン用 ZKPPUN-K ●コーリアン・フィオレストーン®用 ZKPPEN-K				 ZKPPUN-K	 ZKPPGN-K
	まな板ラック	 ZKPAHN-K ※フィオレストーン®の場合、 取り付けできません。				—	
	まな板スタンド	 フラット対面・フィオレストーン®用 ZKPBNN-K				—	
	クリンコーナー	 ZKPKNN-K	※ステンレス製の三角コーナーです。 SA/SK/RWシンクでは、フタの代わりに排水口上部に 設置してお使いいただけます。			—	



# 人工大理石シンク用アクセサリパーツ

キッチン 奥行き		65cm/98cm	65cm/97cm
お使いの シンク	人工大理石 シンク	AEシンク  W78×D55×H18.5cm	PMシンク  W71.3×D44.9×H19.2cm
	クリン ラック	 KAP-CK7	 KAP-SP12
	クリン プレート	 KAP-HP12N(ホワイト) KAP-HP12G(ベージュ) KAP-HP12P(コーラル) KAP-HP12B(ブルーグレー) KAP-HP12R(モカ)	 KAP-HPBW(カームホワイト) KAP-HPBB(ベージュ) KAP-HPBP(ピンク)
付属品	浅型 カゴ	 KAP-AG3	 KAP-H7
	サポート プレート メッシュ タイプ	 ●アクリストーン・コーリアン用 ZKPPCN-K ●フィオレストーン®用 ZKPPPN-K	 ZKPPMN-K
	まな板 スタンド	 フラット対面・フィオレストーン®用 ZKPSNN-K	
オプション BOX	クリン コーナー	 ※ステンレス製の直角コーナーです。 AEシンクでは、フタの代わりに 排水口上部に設置して お使いいただけます。 ZKPKNN-K	—

## スクエアタオル掛け

アンダーガードモールに取り付けるタオル掛けです。  
使いやすい高さにタオルを掛けることができます。

品番
ZKHDAB

※タオル掛けをタオルを掛ける以外の目的で使用しないでください。



スクエアタオル掛け



使用例

## タオル掛け

シンクキャビネット専用のタオル掛けです。取っ手よりも高い位置にタオルを掛けられるので、使いやすい高さで、引出しにはさまる心配なくタオルが使用できます。

対応している取っ手の種類	品番
ライン取っ手用（シルバー）	ZKHTDN
ライン取っ手用（ブラック）	ZKHTDB
ショートバー取っ手用（シルバー）	ZKHCAN
ショートバー取っ手用（ブラック）	ZKH CAB



タオル掛け

〈ライン取っ手用〉



使用例

〈ショートバー取っ手用〉



使用例

## ハンドムーブ用オプション

ハンドムーブに設置すれば、調理道具や食器等を収納するのに便利です。

ハンドムーブ用オプション	品番
皿立てラック	ZKMSNN
まな板ラック	ZKMENN
レードルラック	ZKMMNN
カトラリーラック	ZKMCNN



皿立てラック



使用例



レードルラック



使用例



まな板ラック



使用例



カトラリーラック



使用例

排水の流れが悪いです。

A. 次の点をご確認ください。

- ・ シンクの浅型カゴにゴミがたまっていますか？
- ・ シンクの排水口周りが汚れていませんか？

**参照** 部品ごとのお手入れ方法 P.32～33

- ・ 排水管が汚れていませんか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。

**参照** 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点 P.33

Q. 排水口が臭います。

A. 防臭パイプ・防臭器が汚れていませんか？お手入れについては以下のページをご参照ください。

**参照** 部品ごとのお手入れ方法 P.32～33

Q. 排水口から「ゴボゴボ」音がします。

A. 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。異常ではありません。

Q. 開き扉がガタつきます。

A. 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？  
ねじがゆるんでいる場合は、④ドライバで締め直してください。



Q. 引出しがきちんと閉まりません。

A. 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

**参照** 引出し前板の調整のしかた P.48

Q. 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

- A. ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。
- ・ 食器などの後片付けは水滴を拭き取ってから収納する。
  - ・ 開封した食品は樹脂容器などに入れる。
  - ・ とくとき、扉を開放して換気する。

Q. ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついてしまったらどうしたらいいですか？

A. お手入れについては以下のページを参照してください。

**参照** ステンレスワークトップのお手入れ P.24～25

Q. ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？

- A. ①さびた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含ませます。
- ②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムをかけて放置します。軽いサビなら1日程度で除去できます。

Q. シンクやカウンター裏面が結露をおこしてキャビネット内に水滴が落ちてしまいます。また、ステンレスキャビネットが結露をおこして、キャビネット内やカウンター裏面にカビが発生しています。何か対策はありますか？

A. シンクやカウンター裏面の結露は、室内が高温多湿の状態、冷たい水によりシンク表面が冷やされ、空気中の水蒸気が付着する現象です。ステンレスキャビネットもステンレス表面の温度が低いと、同様に結露が発生する場合があります。ぬれた部分やカビは拭き取り、キャビネット内の換気、市販の除湿剤を用いて湿気の除去を行ってください。

# MEMO

# 保証書

◎ システムキッチン用

シリーズ・品番	クリナップオリジナルシステムキッチン			出張修理
保証期間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年 月 日	
★お客様	ご住所			
	お名前	様 TEL ( )		
★販売会社	住所 店名	TEL ( ) (印) またはサイン		

## 無料修理規定

ご販売会社様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売会社に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売会社にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売会社にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品(照明の電球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 取扱いによらない自然の消耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。

例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。

(9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。

例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のフリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。

ならびに、浄化槽や洗剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。

(10) タバコ、火、商品傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。

(11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。

(12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。

(13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。

(14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。

(15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。

(16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。

(17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。

(18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。

(19) 本保証書のご提示がない場合。

(20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売会社名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。

(21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

★お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

★本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売会社にお問い合わせください。

★修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口： クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

**クリナップ株式会社**

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6-22-22



## 修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、お買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、またはクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。また連絡する際は、お名前、ご住所、お電話番号、ご購入年月日、症状およびシンクキャビネット引出しを開け、キャビネット内側をご確認いただき、貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.もあわせてお知らせください（シンクキャビネットで確認できない場合は、下図のコンロキャビネットなど、ほかのキャビネットの内側でも確認できます）。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	☎

## 廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

## アフターサービスのご用命

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売会社、担当のハウスメーカー営業所・カスタマーセンター、または下記のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

### ●お電話でのご用命

☎0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料  
無料

### ●インターネット窓口（クリナップホームページ内）

<https://cleanup.jp/support/>

右の2次元コードで【お客様サポートサイト】へ



### 受付時間 9:00～17:00

- \*9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。
- \*年末年始はお休みさせていただきます。
- \*諸般の事情により営業日、受付時間に変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- \*インターネット窓口では、Q&A（よくあるご質問）をご紹介します。
- 修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

### レンジフードフィルターなどの 訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22